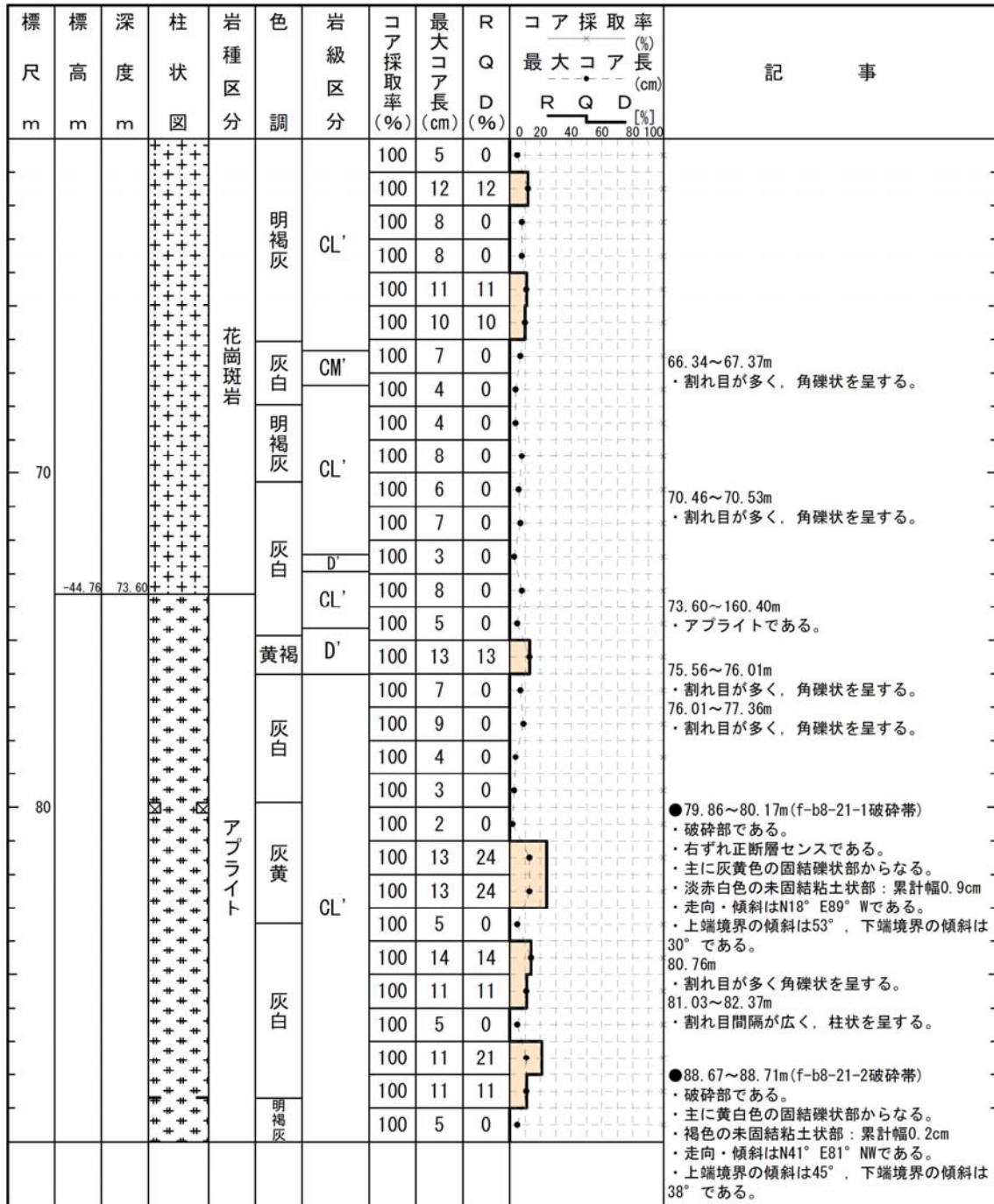
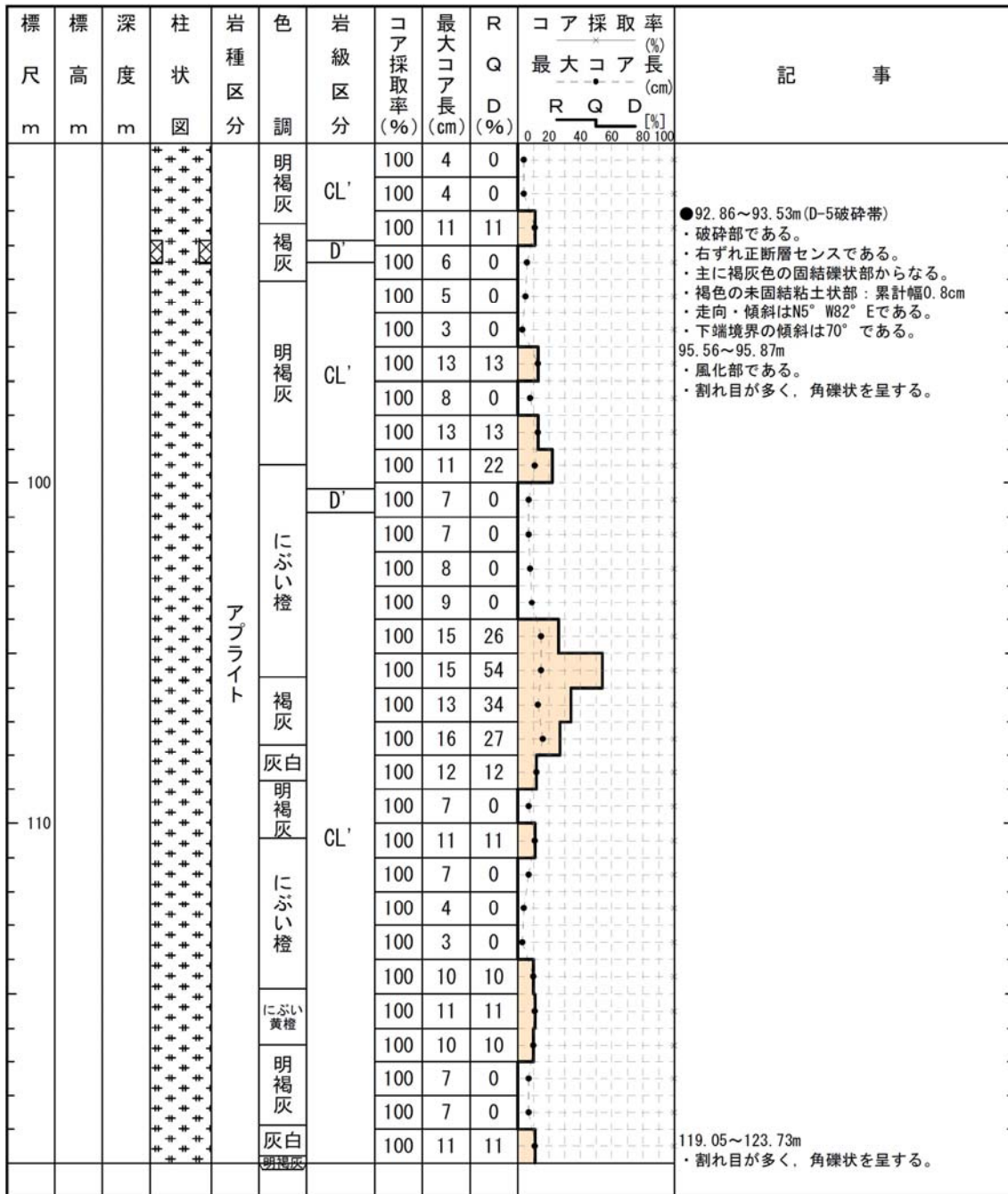


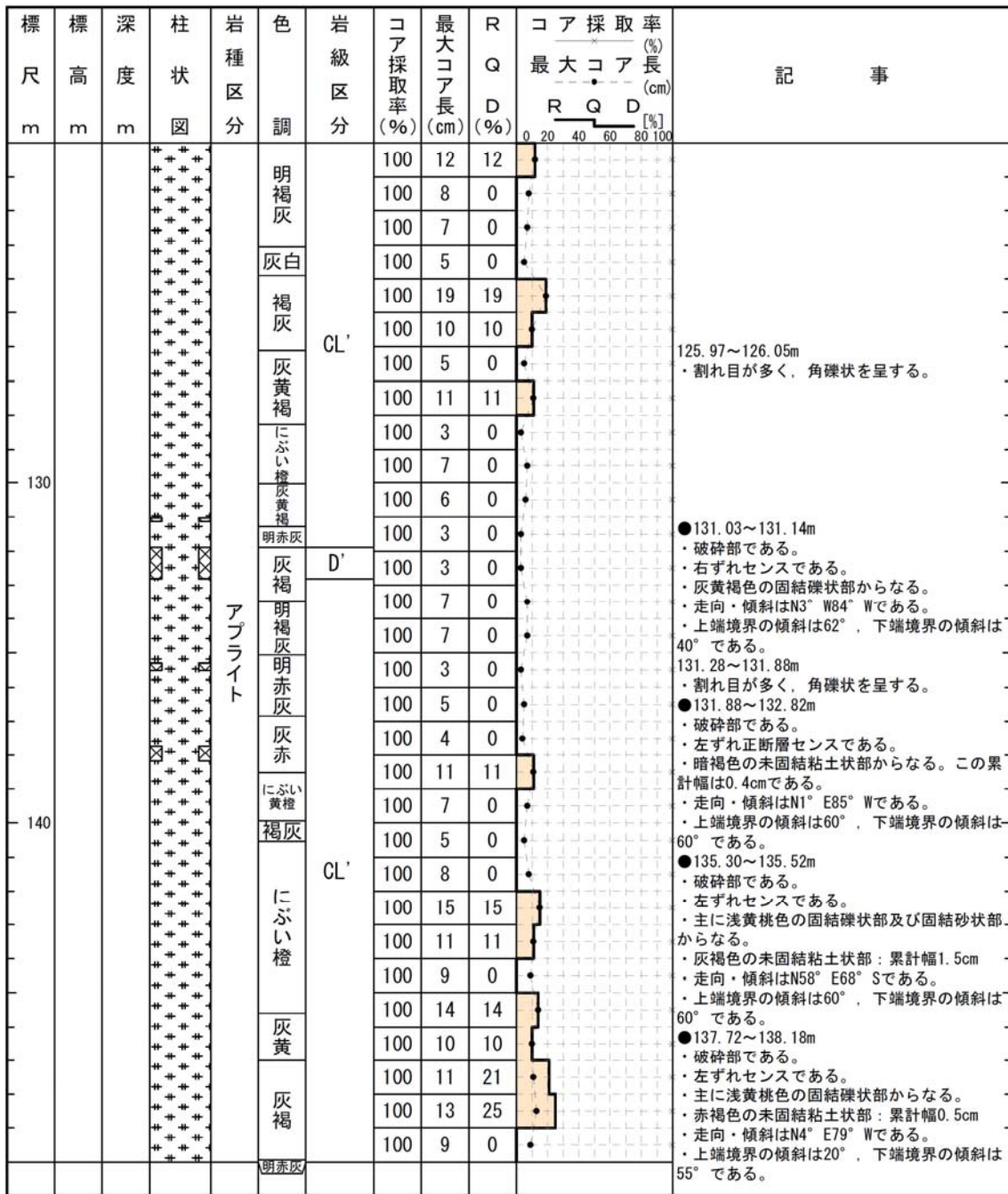
柱状図(60.00m~90.00m)



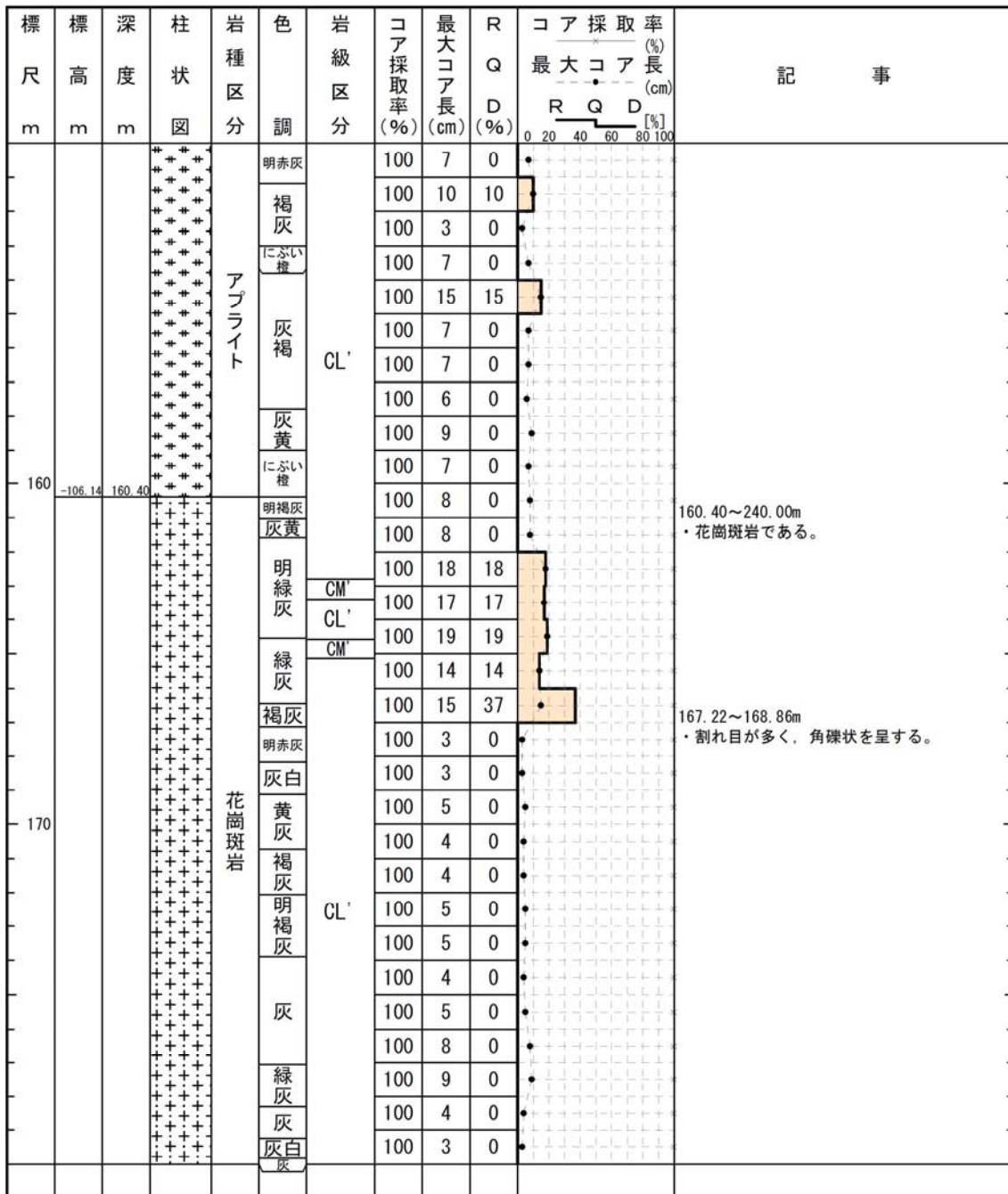
柱状図(90.00m~120.00m)



柱状図(120.00m~150.00m)



柱状図(150.00m~180.00m)

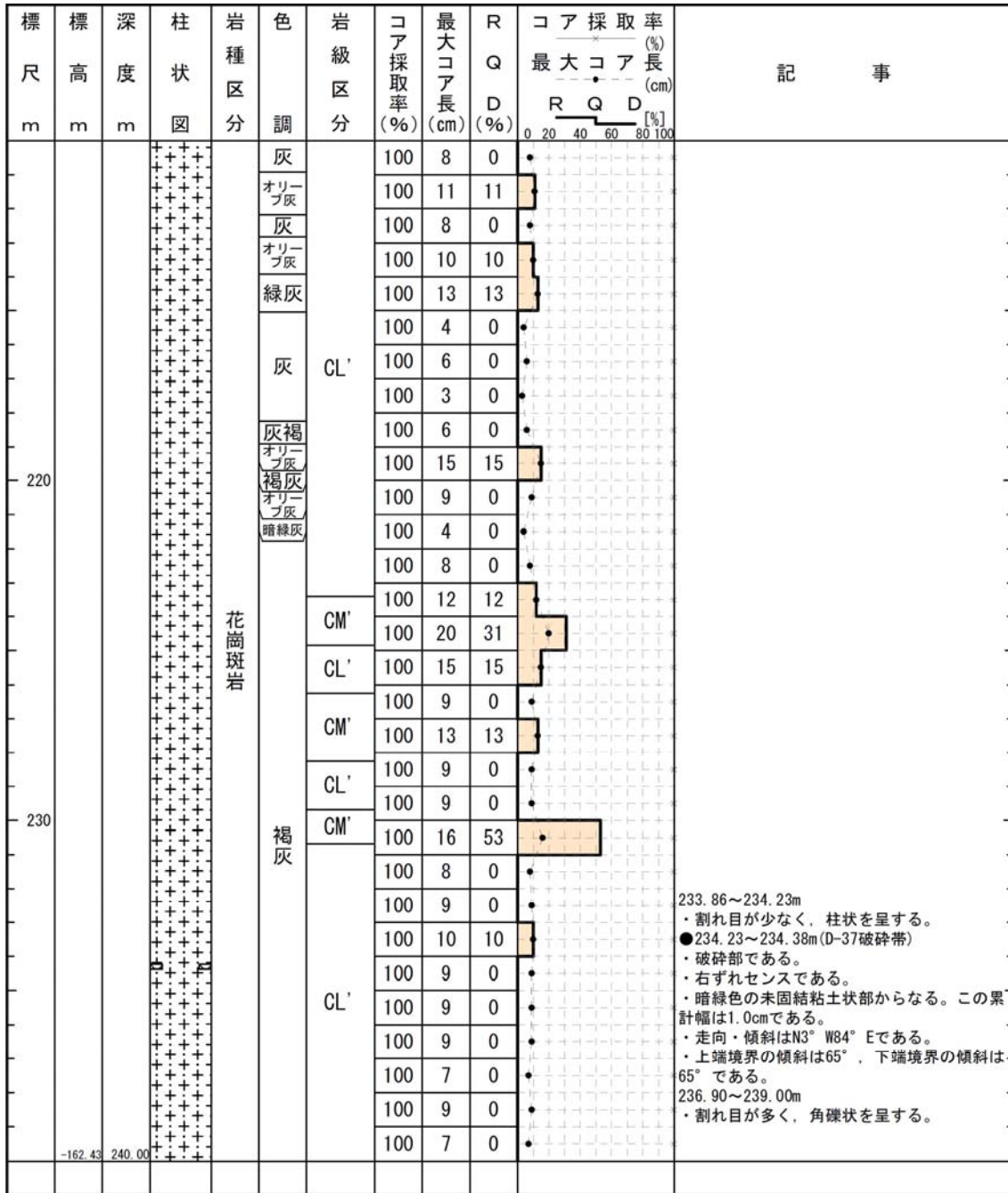


H24-B8-21

柱状図(180.00m~210.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)			記 事
										最大 コア 長 (cm)	R	Q	
190			+	花崗斑岩	灰	CL'	100	3	0	0	0	0	183.04~183.56m ・割れ目は少なく、柱状を呈する。
					緑灰	D'	100	4	0	0	0	0	
					オリブ灰	CL'	100	6	0	0	0	0	
					灰白		100	9	0	0	0	0	
					灰		100	12	12	0	0	0	
							100	7	0	0	0	0	
							100	15	15	0	0	0	
					灰		100	9	0	0	0	0	
							100	4	0	0	0	0	
					褐灰		100	8	0	0	0	0	
					灰		100	3	0	0	0	0	
							100	4	0	0	0	0	
						100	4	0	0	0	0		
					灰オリブ	CM'	100	7	0	0	0		
					100	14	14	0	0	0			
					灰黄	CL'	100	3	0	0	0		
							100	3	0	0	0		
					灰		100	9	0	0	0		
					オリブ灰		100	10	10	0	0		
							100	12	12	0	0		
灰	100	7	0	0	0								
緑灰	100	5	0	0	0								
灰	100	3	0	0	0								
	100	5	0	0	0								
	100	7	0	0	0								
オリブ灰	100	8	0	0	0								
緑灰	CL'	100	11	11	0	0							
		100	10	10	0	0							
灰		100	13	13	0	0							
		100	13	13	0	0							
200				+	花崗斑岩	灰	203.92~204.36m ・変質で緑色に変色する。						
						緑灰	207.92~208.42m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。						

柱状図(210.00m~240.00m)



H27-D5-1

柱状図(0.00m~30.00m)

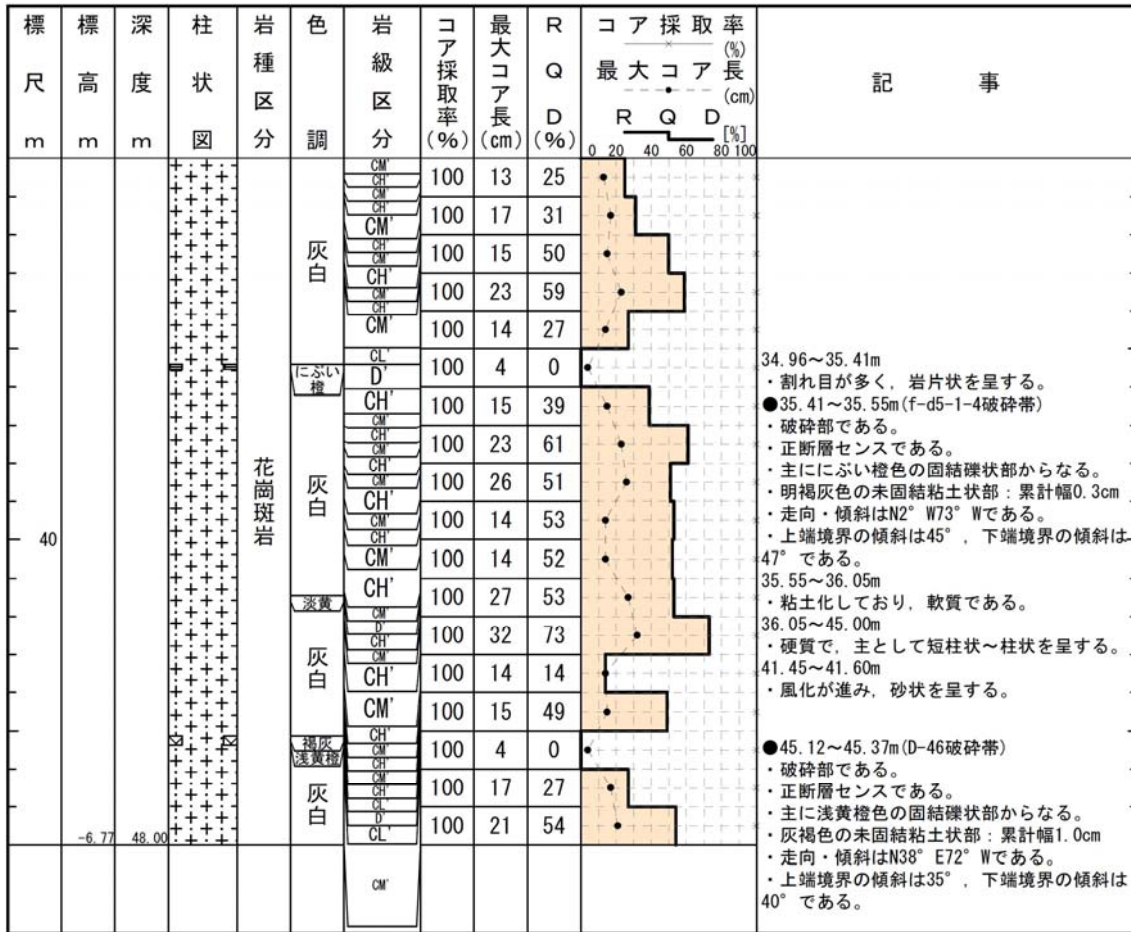
H27-D5-1

孔 口 標 高	T. P.	41.23m	掘 削 長	48.00m
---------	-------	--------	-------	--------

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	岩 級 区 分	コ ア 採 取 率 (%)	最 大 コ ア 長 (cm)	R Q D (%)	コ ア 採 取 率 (%)			記 事
										最 大 コ ア 長 (cm)	R	Q	
	40.21	1.02		盛土	黒褐色		100						0.00~1.02m ・盛土である。
	39.14	1.11		礫混じり砂	明黄褐色		100						1.02~1.11m ・礫混じり砂である。
	38.85	2.40		シルト混じり砂	にぶい黄褐色	CM'	100	6	0				1.11~1.30m ・シルト混じり砂である。
	38.40	2.40		砂質シルト		CL'	100	4	0				1.30~1.41m ・砂質シルトである。
	38.20	2.40		礫混じり砂		CM'	100	3	0				1.41~2.40m ・礫混じり砂である。
	38.20	2.40		シルト混じり砂		CL'	100	3	0				2.40~2.60m ・シルト混じり砂である。
	38.20	2.40		砂礫		CM'	100	20	20				2.60~2.84m ・砂礫である。
10				灰白		CM'	100	5	0				2.84~48.00m ・花崗斑岩である。
				灰白		CM'	100	15	15				4.80~5.50m ・風化が進み、軟質化している。
				灰白		CM'	100	11	11				5.05~5.50m ・割れ目が多く、岩片状を呈する。
				淡黄		CL'	100	6	0				12.35~12.70m ・風化が進み、軟質化している。
				灰白		CM'	100	19	19				14.30~14.65m ・風化が進み、軟質化している。
				淡黄		CL'	100	12	12				17.47~17.91m ・割れ目に沿って、灰白色シルトを挟む。
				灰白		CM'	100	6	0				17.70~18.00m ・風化が進み、軟質化している。
				灰白		CL'	100	7	0				19.15~19.55m ・風化が進み、軟質化している。
				灰白		CM'	100	3	0				20.80~22.35m ・硬質で割れ目が少なく、柱状~長柱状を呈する。
				淡黄		D'	100	6	0				●22.91~23.23m(D-4破砕帯) ・破砕部である。
				灰白		CL'	100	7	0				・正断層センスである。
				にぶい橙		D'	100	10	46				・主に淡黄色の固結礫状部からなる。
				灰白		CL'	100	6	0				・灰オリーブ色の未固結粘土状部：累計幅0.3cm
				明褐色		D'	100	6	0				・走向・傾斜はN35° E74° Wである。
				灰白		CM'	100	55	55				・上端境界の傾斜は28°、下端境界の傾斜は35°である。
				灰白		CH'	100	17	27				24.65~25.00m ・縦方向の割れ目が連続する。
				灰白		CM'	100	21	37				●25.17~25.44m(D-45破砕帯) ・破砕部である。
				灰白		CH'	100	17	30				・正断層センスである。
				灰白		CM'	100	17	30				・主ににぶい橙色の固結礫状部からなる。
				灰白		CH'	100	17	30				・淡黄色の未固結粘土状部：累計幅1.5cm
				灰白		CM'	100	17	30				・走向・傾斜はN31° E81° Wである。
				灰白		CH'	100	17	30				・上端境界の傾斜は48°、下端境界の傾斜は36°である。
				灰白		CM'	100	17	30				●25.65~25.77m(D-5破砕帯) ・破砕部である。
				灰白		CH'	100	17	30				・右ずれ正断層センスである。
				灰白		CM'	100	17	30				・主に灰黄褐色の固結粘土状部からなる。
				灰白		CH'	100	17	30				・灰黄褐色の未固結粘土状部：累計幅0.1cm
				灰白		CM'	100	17	30				・走向・傾斜はN21° E87° Wである。
				灰白		CH'	100	17	30				・上端境界の傾斜は30°~60°で湾曲している。
				灰白		CM'	100	17	30				25.77~26.12m ・粘土化しており、軟質である。

H27-D5-1

柱状図(25.00m~48.00m)

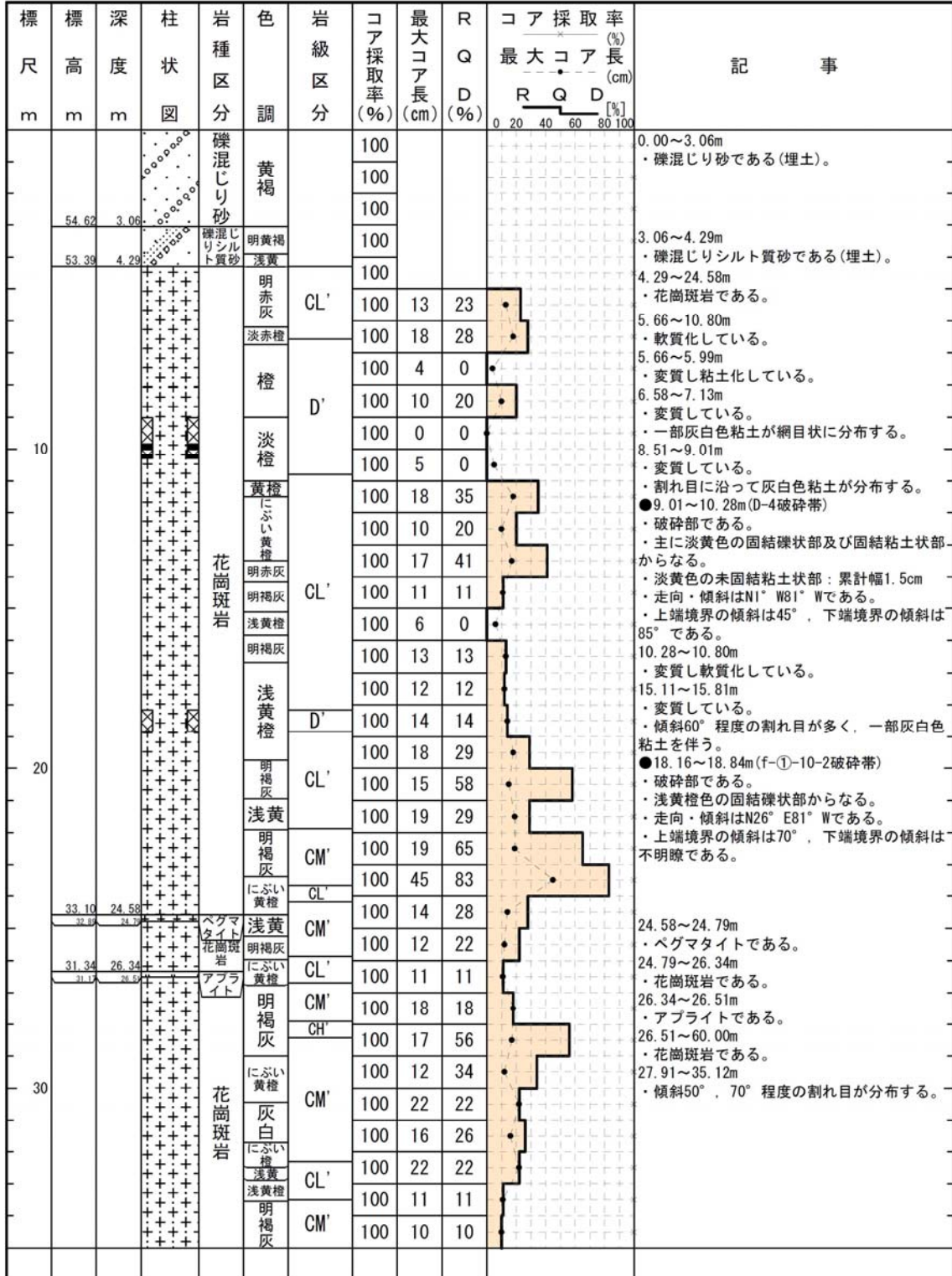


H20-①-10

柱状図(0.00m~35.00m)

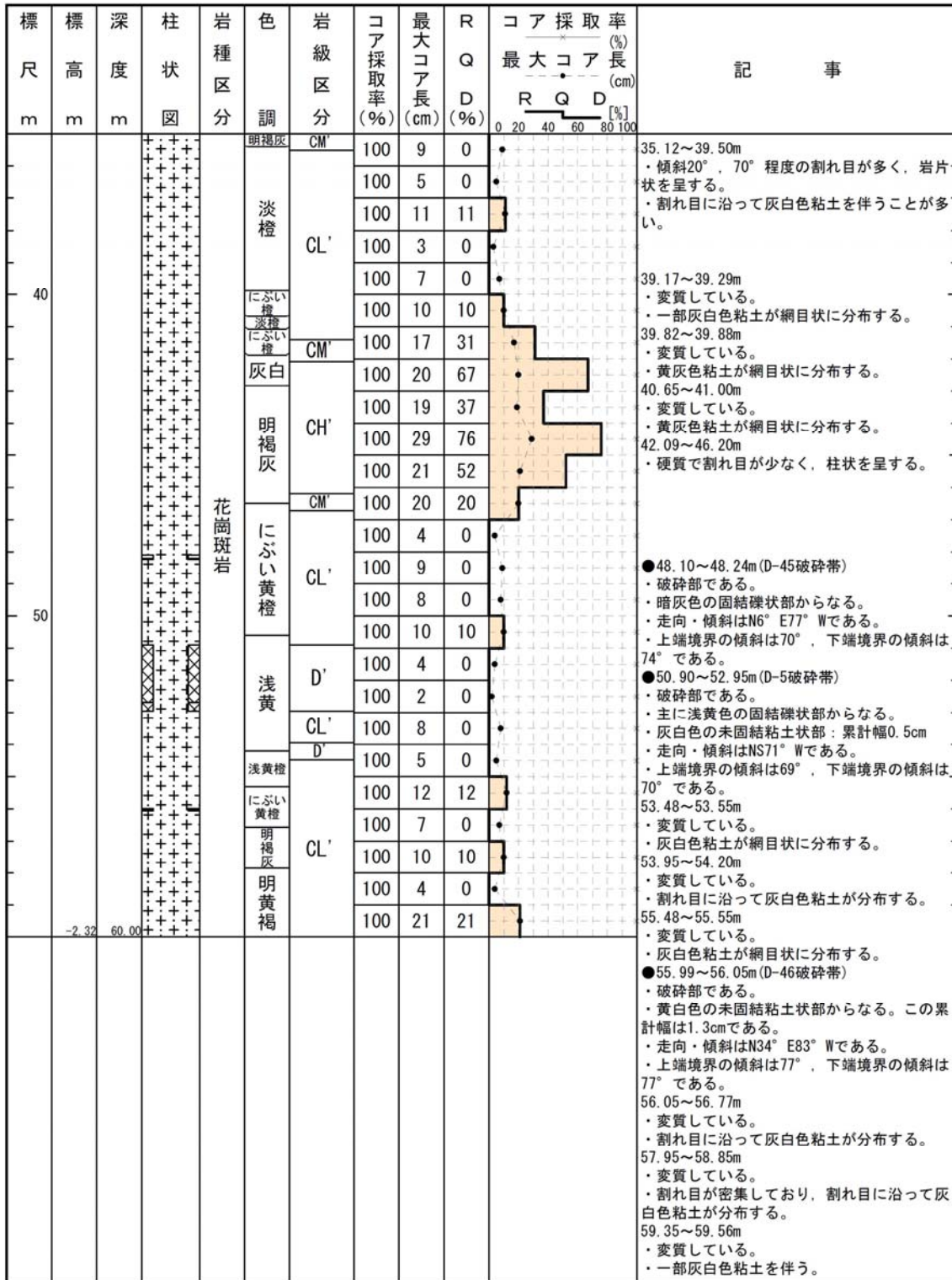
H20-①-10

孔 口 標 高	T. P.	57.68m	掘 削 長	60.00m
---------	-------	--------	-------	--------



H20-①-10

柱状図(35.00m~60.00m)



H19-No.16

柱状図(0.00m~35.00m)

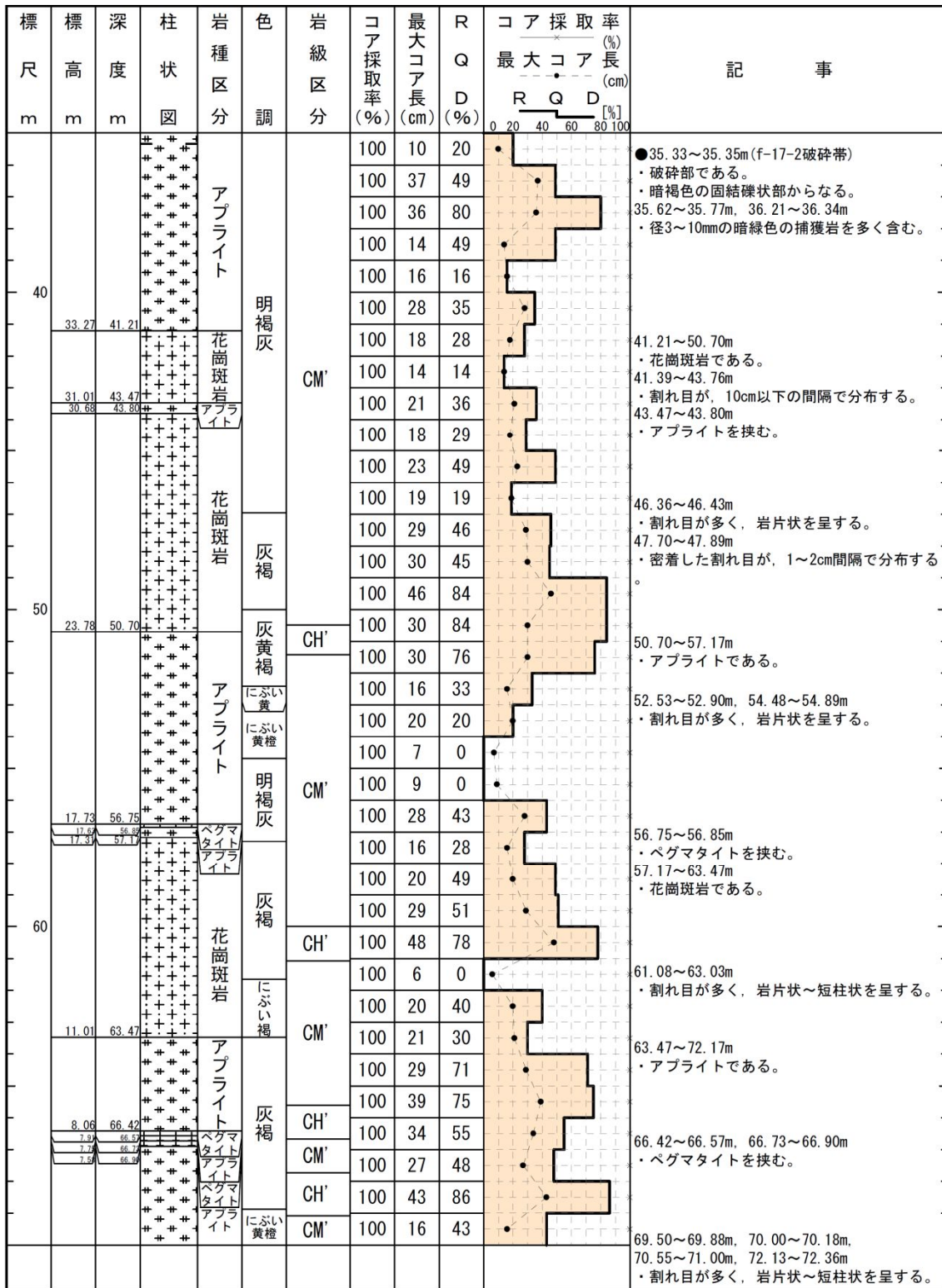
H19-No. 16

孔 口 標 高	T. P.	74.48m	掘 削 長	220.00m
---------	-------	--------	-------	---------

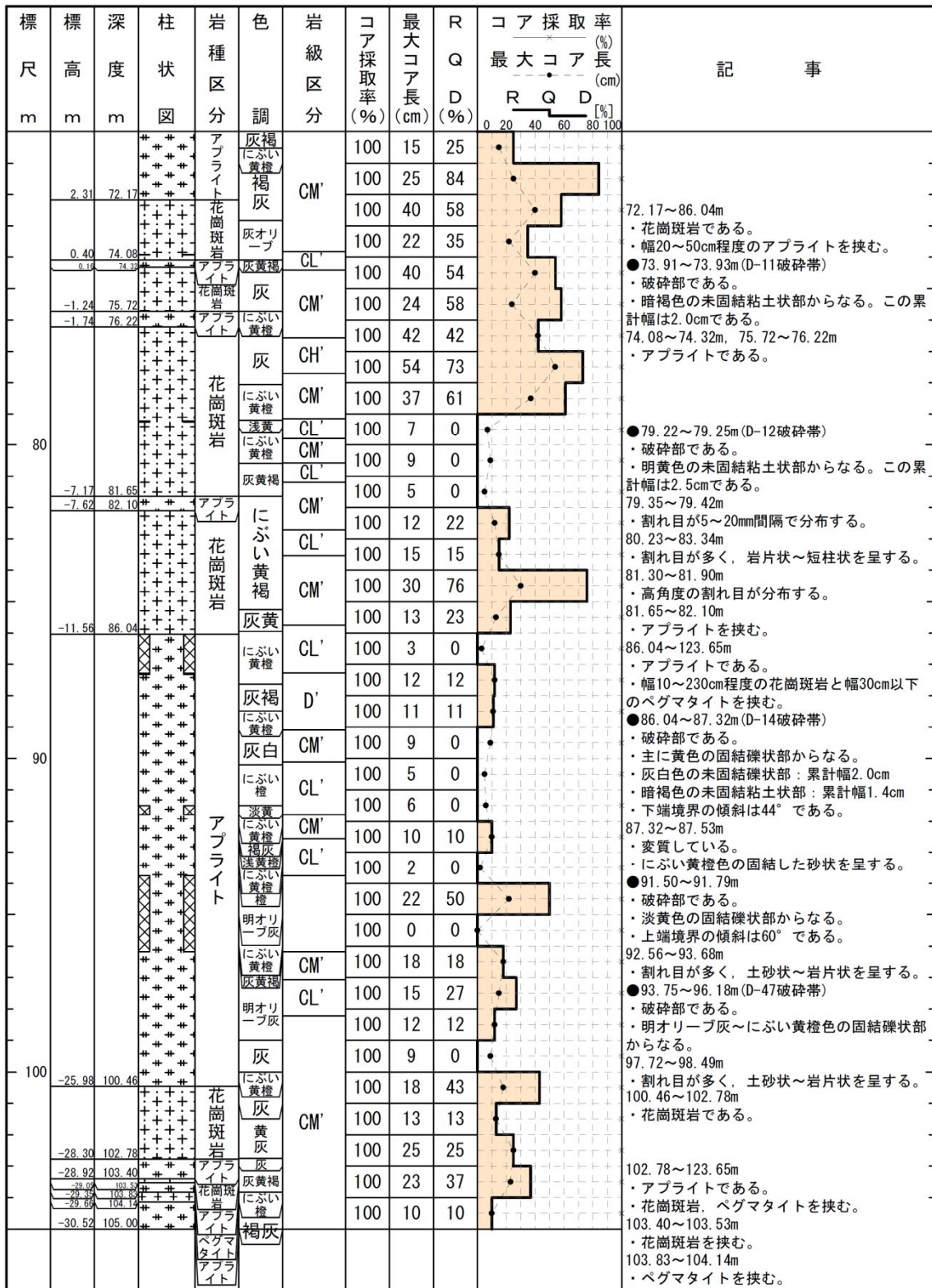
標 尺 m	標 高 m	深 度 m	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	岩 級 区 分	コ ア 採 取 率 (%)	最 大 コ ア 長 (cm)	R Q D (%)	コ ア 採 取 率 (%) 最 大 コ ア 長 (cm)	R Q D [%]	記 事
				盛土	オリブ黒 浅黄		100					0.00~9.81m ・盛土である。 0.40~2.00m ・径5~30mmの碎石、砂からなる。 2.00~9.63m ・シルト混じり砂礫からなる。
							100					
							100					
							100					
							100					
							100					
							100					
							100					
							100					
							100					
10	64.67	9.81		花崗斑岩	灰	D'	100	94	94		9.63~9.81m ・コンクリート片を含む。 9.81~12.73m ・花崗斑岩である。 ・強風化し、軟質化している。 12.73~41.21m ・アプライトである。 14.11~14.33m ・ペグマタイトを挟む。 ●16.01~17.82m ・破砕部である。 ・にぶい黄橙色の固結礫状部及び固結砂状部からなる。 ・上端境界の傾斜は50°、下端境界の傾斜は50°である。 17.82~20.00m ・密着した割れ目が、数十mm間隔で分布する。 21.28~24.43m ・割れ目が、10~20cm間隔で分布する。 27.00~27.09m ・高角度の割れ目が多く、岩片状~短柱状を呈する。 ●28.92~29.04m(f-6)-3-2破砕帯 ・破砕部である。 ・明褐色の固結礫状部からなる。 33.44~34.02m ・花崗斑岩を挟む。	
						D'	100	81	81			
						D'	100	75	85			
	61.75	12.73				CL'	100	17	29			
	60.37	14.11				CM'	100	20	20			
	60.13	14.33				CM'	100	35	79			
						にぶい黄橙	100	0	0			
						明赤灰	CM'	100	17	17		
						明赤灰	CM'	100	24	40		
						明赤灰	CL'	100	16	57		
20				アプライト	にぶい黄橙	CM'	100	31	42			
						にぶい黄橙	CM'	100	30	55		
						にぶい黄橙	CM'	100	22	35		
						にぶい黄橙	CM'	100	22	52		
						灰白	CM'	100	55	84		
						灰白	CM'	100	18	70		
						灰白	CM'	100	35	68		
						灰白	CM'	100	24	60		
						明褐灰	CL'	100	15	36		
						明褐灰	CM'	100	26	44		
30				アプライト	明褐灰	CM'	100	14	40			
						明褐灰	CM'	100	28	50		
						明褐灰	CM'	100	20	54		
						明褐灰	CM'	100	47	47		
	41.04	33.44				明褐灰	CM'	100	28	60		
	40.46	34.02				明褐灰	CM'	100	28	60		

H19-No.16

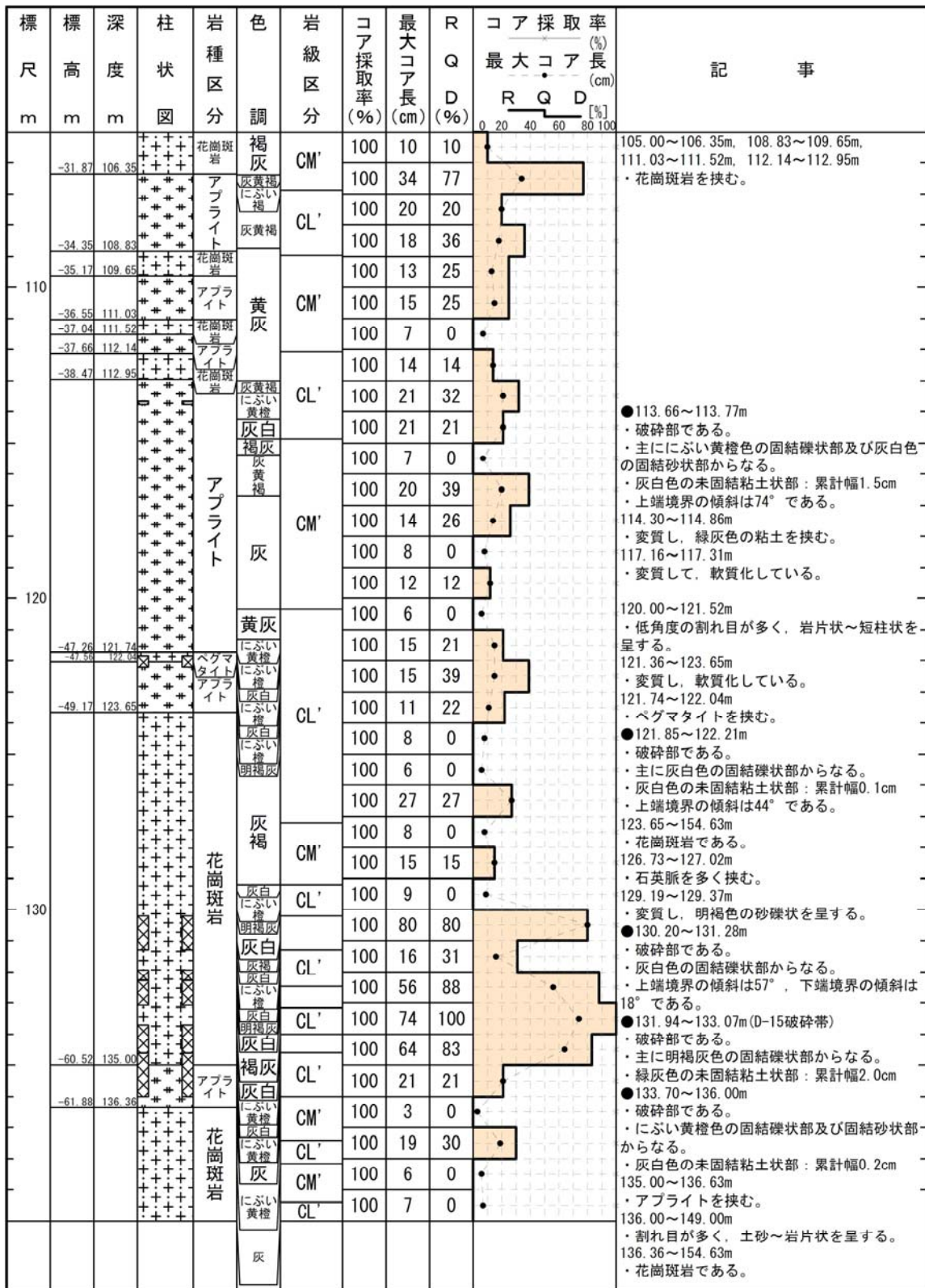
柱状図(35.00m~70.00m)



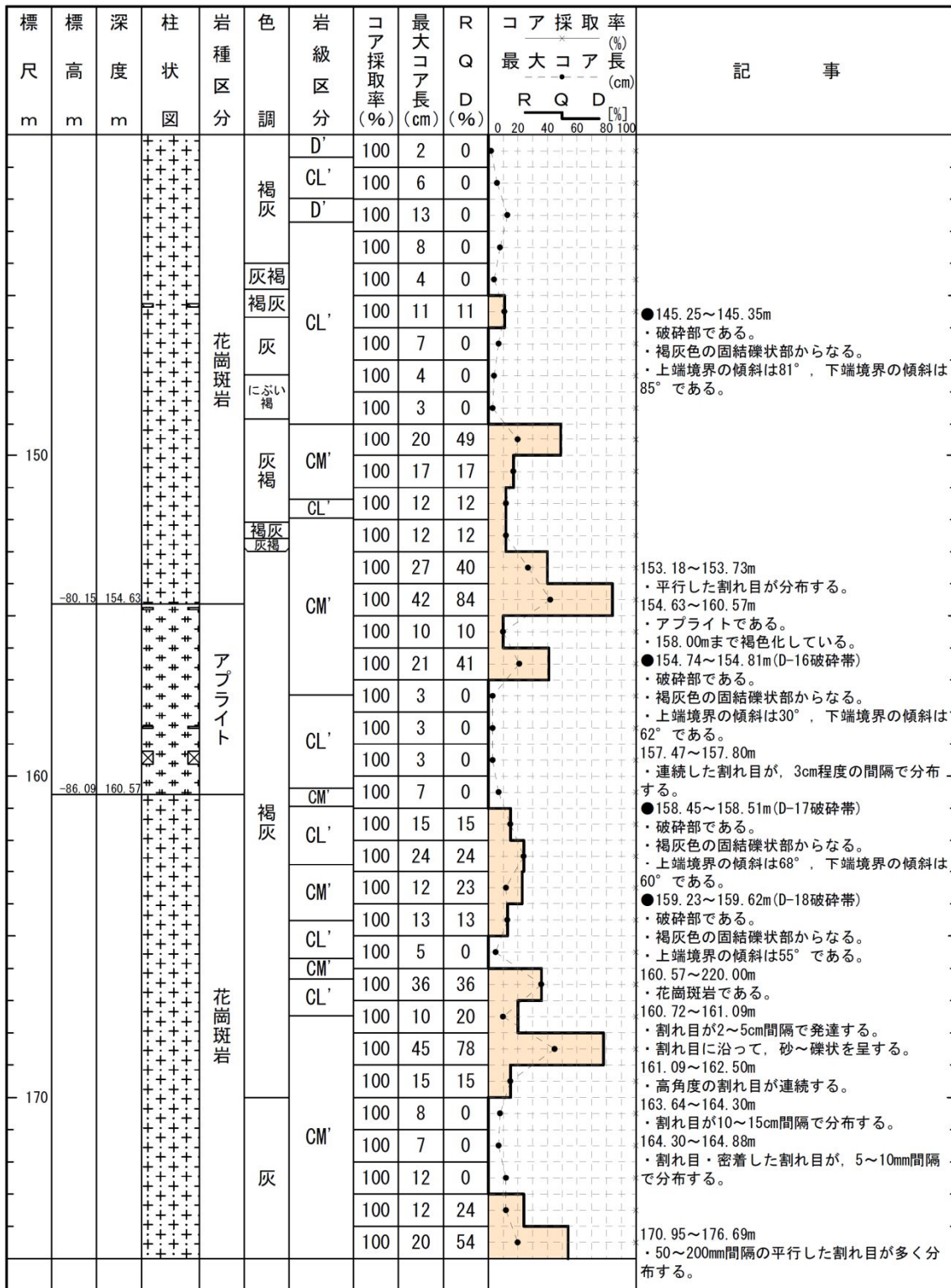
柱状図(70.00m~105.00m)



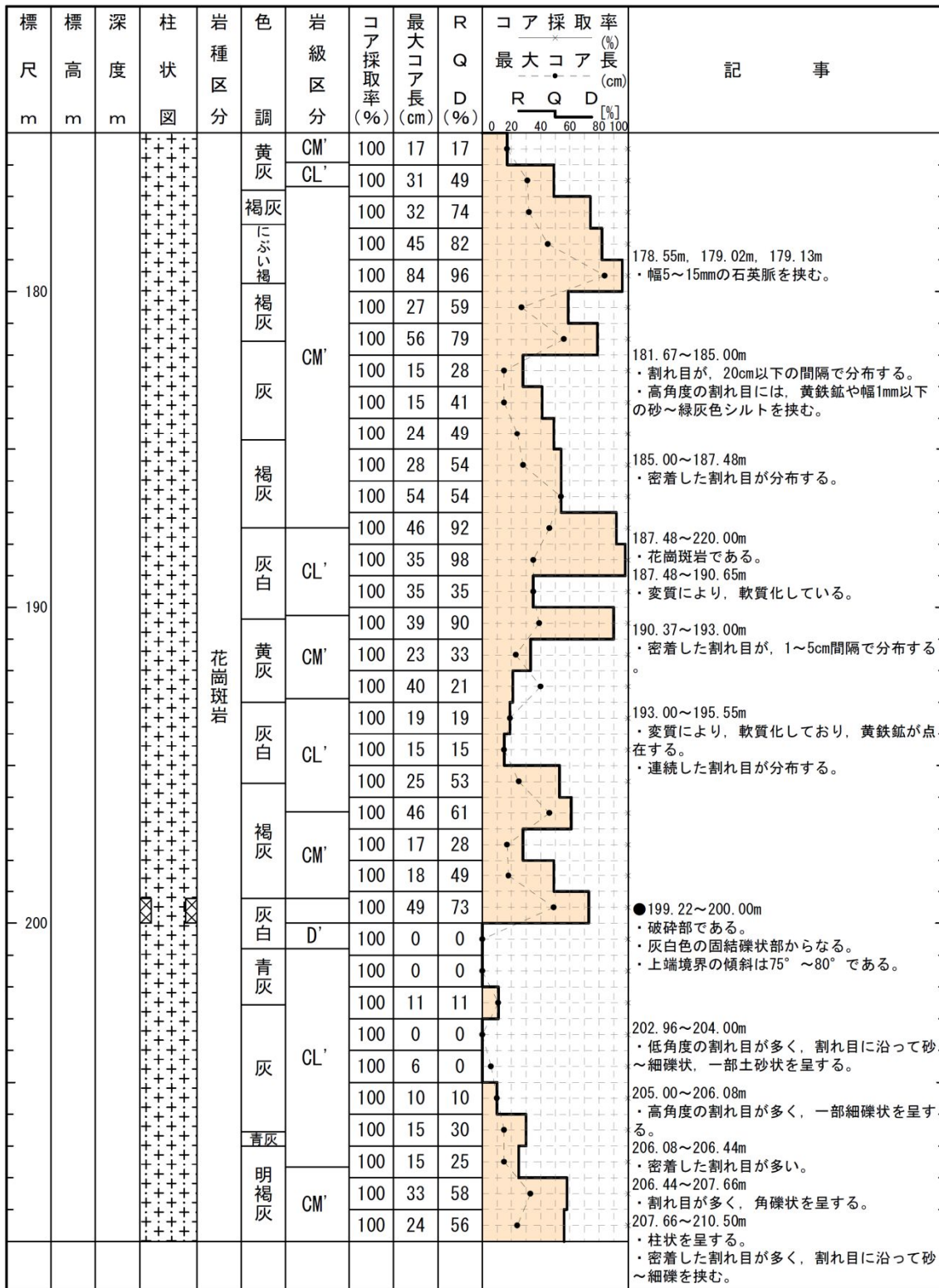
柱状図(105.00m~140.00m)



柱状図(140.00m~175.00m)



柱状図(175.00m~210.00m)



H19-No.16

柱状図(210.00m～220.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状図	岩種区分	色調	岩級区分	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm)	R Q D [%]	記事
			+	花崗斑岩	褐灰	CM'	100	13	34		<ul style="list-style-type: none"> ●210.53m ・破砕部である。 ・黒色の未固結粘土状部からなる。この累計幅は1.0cmである。 212.52～215.45m <ul style="list-style-type: none"> ・密着した割れ目が多い。 	
					明褐灰	CL'	100	13	13			
					褐灰		100	14	14			
					青灰	CM'	100	20	65			
					灰白青灰		100	21	78			
					褐灰	CL'	100	20	57			
					青灰		100	35	35			
					褐灰	CL'	100	13	13			
					青灰	CM'	100	19	56			
					褐灰	CL'	100	22	34			

H19-No.17

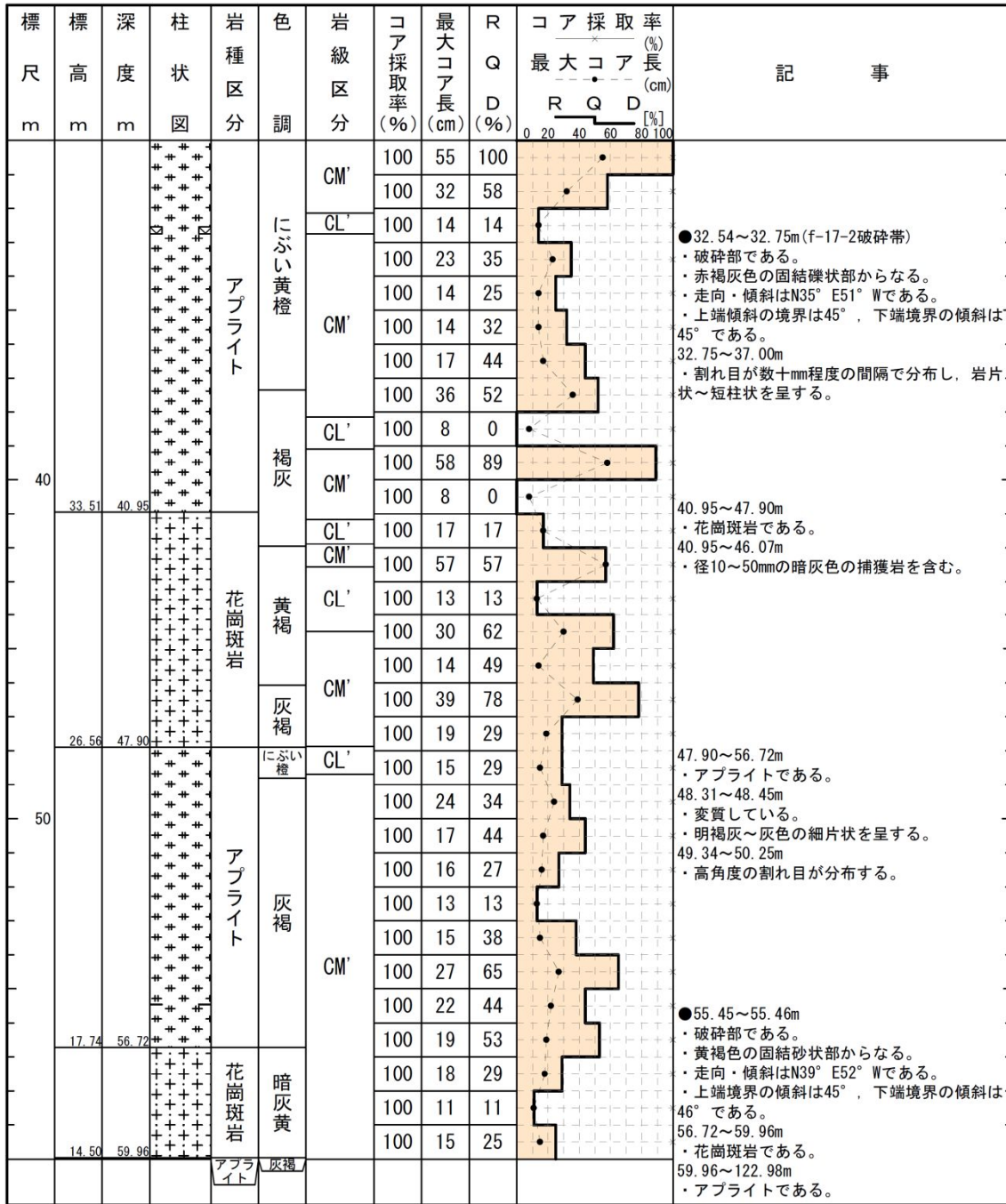
柱状図(0.00m~30.00m)

H19-No. 17

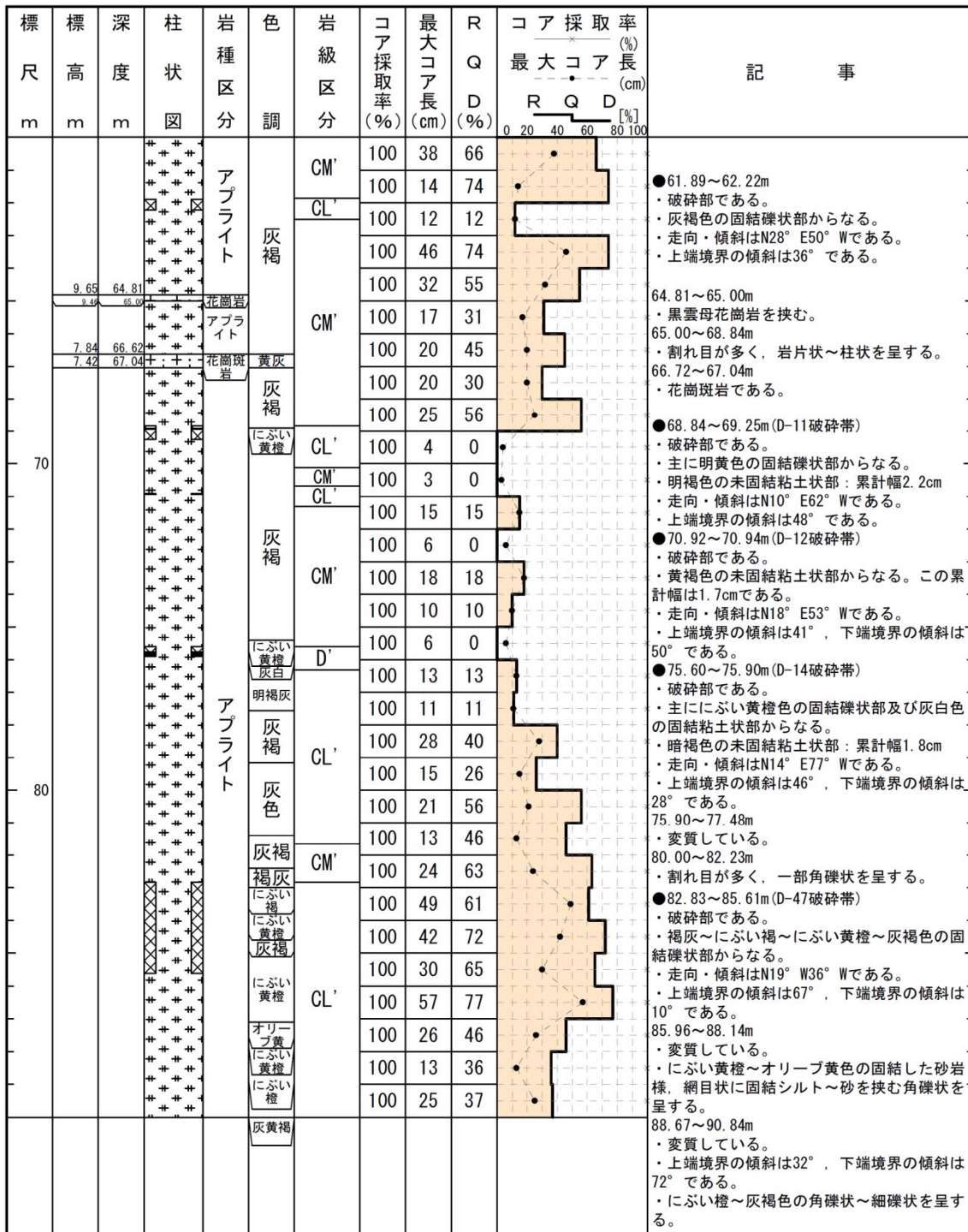
孔 口 標 高	T. P.	74.46m	掘 削 長	200.00m
---------	-------	--------	-------	---------

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	岩 級 区 分	コ ア 採 取 率 (%)	最 大 コ ア 長 (cm)	R Q D (%)	コ ア 採 取 率 (%) 最 大 コ ア 長 (cm)	R Q D [%]	記 事
				盛土	黒褐 にぶい黄							0.00~9.00m ・盛土である。 ・礫・シルト混じり砂~シルト混じり砂礫からなる。
	65.46	9.00		花崗斑岩		D'	100	40	52			9.00~11.03m ・花崗斑岩である。
	63.43	11.03				CL'	100	44	87			
				アプライト		D'	100	21	80			11.03~20.95m ・アプライトである。
						CL'	100	26	38			
						D'	100	8	0			13.19~14.01m ・割れ目が数十mm間隔で分布する。
						CL'	100	45	84			
						CM'	100	34	96			
						CL'	100	21	36			17.05~17.46m ・割れ目が密集する。
						CM'	100	33	73			
						CL'	100	37	63			
	53.51	20.95		花崗斑岩		CL'	100	27	65			20.95~21.88m ・花崗斑岩である。
	52.58	21.88		ベクマタイト			100	37	37			20.59~21.63m ・割れ目が数十mm間隔で分布する。
	52.44	22.07					100	27	93			21.88~22.02m ・ベクマタイトである。
				アプライト			100	18	56			
							100	18	53			
							100	33	58			
							100	52	100			
							100	19	62			●27.65~27.73m (f-⑥-3-2破碎帯) ・破碎部である。
							100	25	85			・にぶい黄橙色の固結礫状部からなる。
							100	19	45			・走向・傾斜はN34° E57° Wである。 ・上端境界の傾斜は53° , 下端境界の傾斜は43° である。

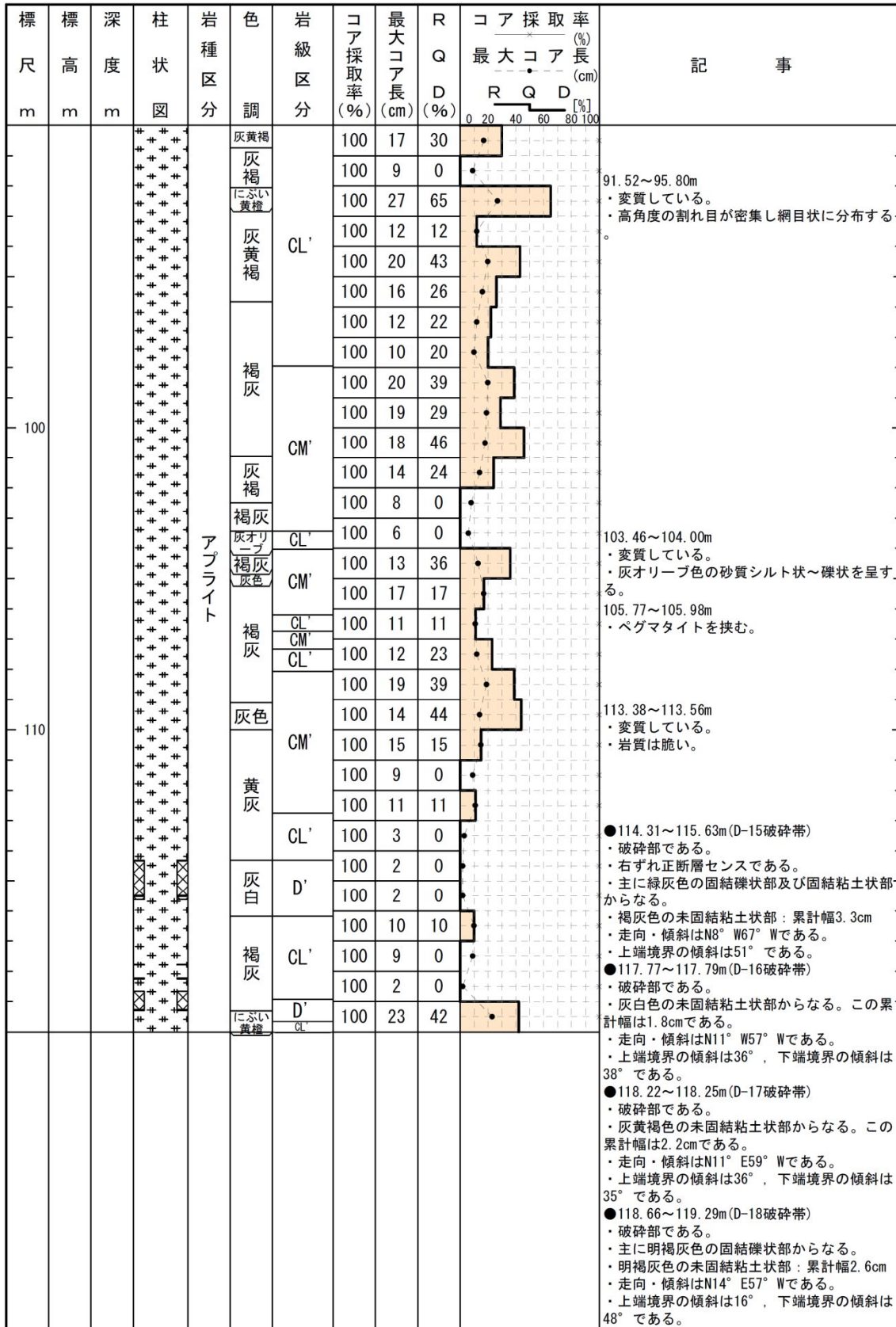
柱状図(30.00m~60.00m)



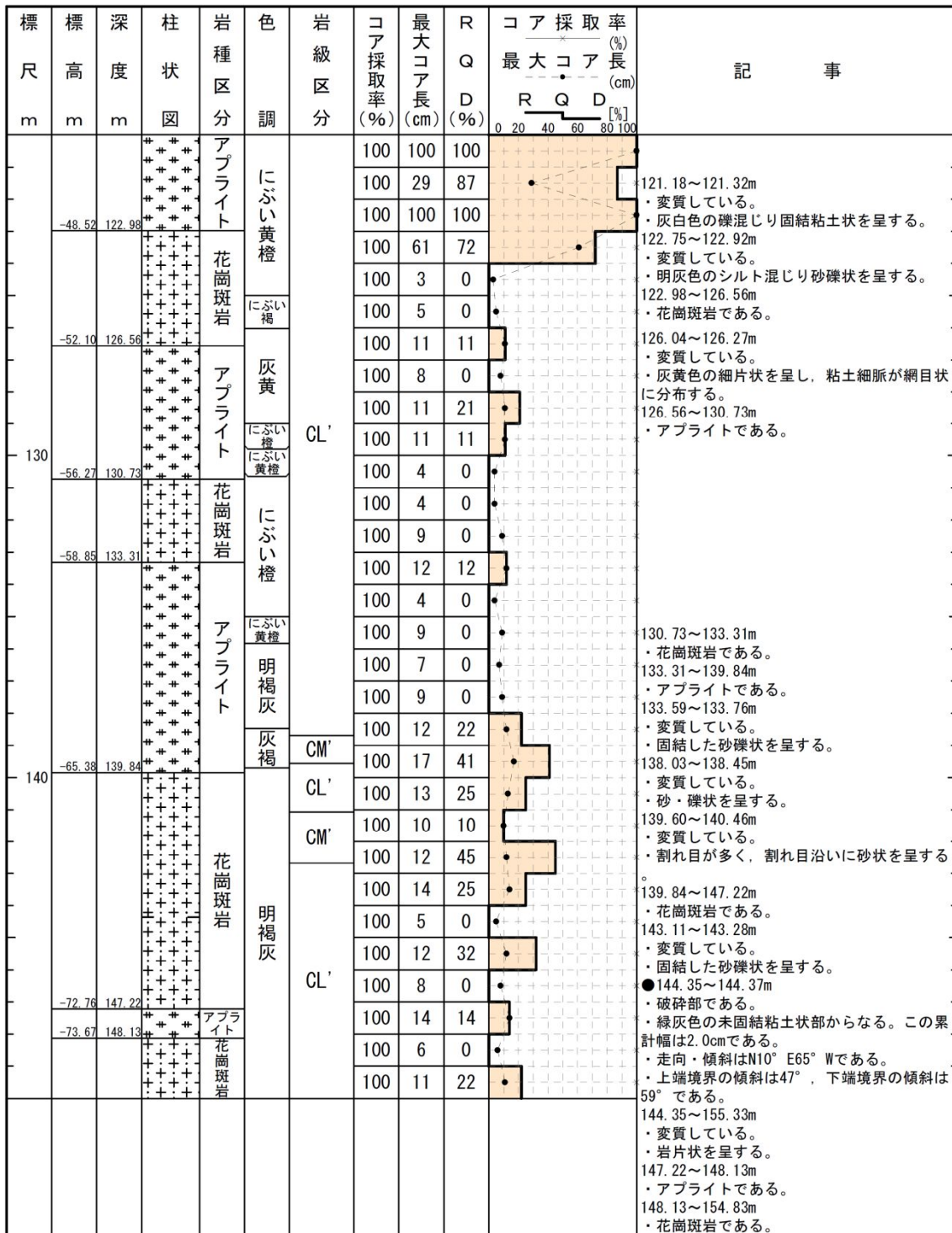
柱状図(60.00m~90.00m)



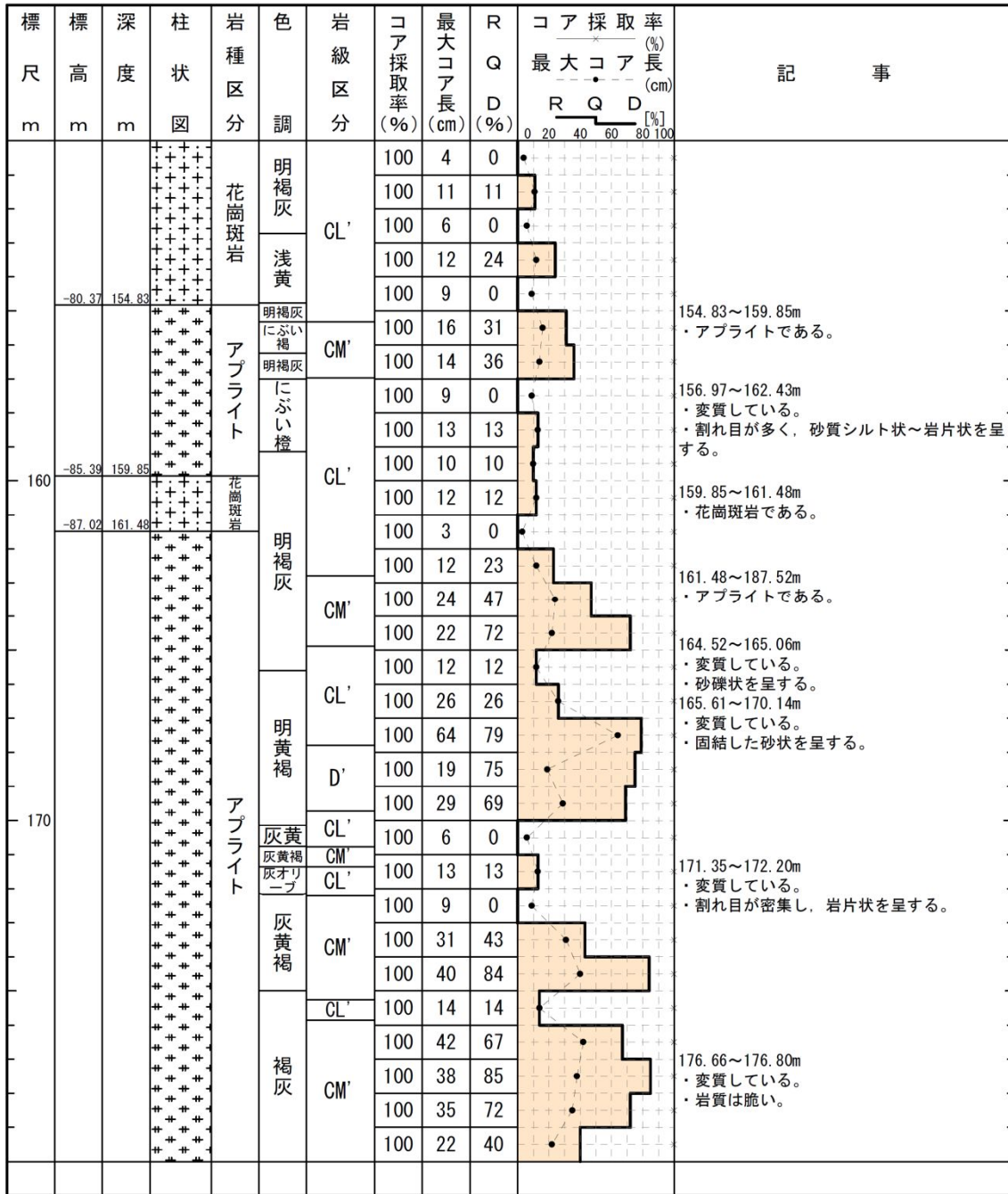
柱状図(90.00m~120.00m)



柱状図(120.00m～150.00m)

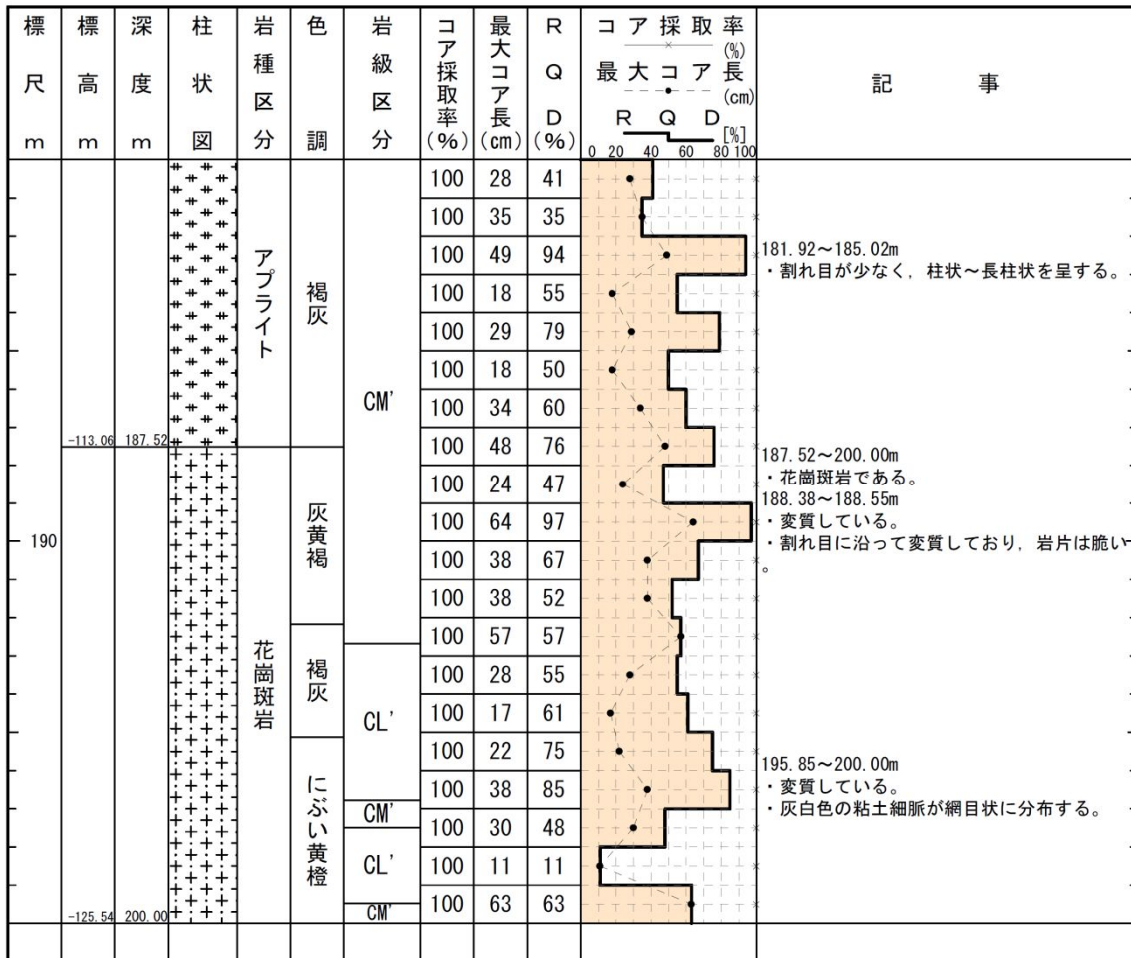


柱状図(150.00m～180.00m)



H19-No.17

柱状図(180.00m~200.00m)



8. 審査資料案
(第657回審査会合(平成30年11月30日))
ボーリング柱状図

余白

H24-D1-2

柱状図(0.00m~33.00m)

H24-D1-2

孔 口 標 高	T.P.	6.95m	掘 削 長	33.00m
---------	------	-------	-------	--------

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	岩 級 区 分	コ ア 採 取 率 (%)	最 大 コ ア 長 (cm)	R Q D (%)	コ ア 採 取 率 (%) 最 大 コ ア 長 (cm)	R Q D [%]	記 事
				盛土	黒		100					0.00~6.81m ・盛土である。
					黄褐		100					
					明黄褐		100					
							100					
							100					
							100					
		1.05	6.81									
				花崗斑岩	にぶい橙	CL'	100	5	0			6.81~33.00m ・花崗斑岩である。
						CL'	100	7	0			
						CL'	100	7	0			
						CL'	100	8	0			
						CL'	100	4	0			
						CL'	100	4	0			
					にぶい褐	D'	100	3	0			11.95~12.13m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。
					にぶい橙	CL'	100	9	0			●12.38~12.97m(D-1破碎帯) ・破碎部である。 ・正断層センスである。 ・主ににぶい褐色の固結礫状部からなる。 ・灰黄色の未固結粘土状部：累計幅0.9cm ・走向・傾斜はN14° W70° Wである。
							CL'	100	10	10		
						CL'	100	7	0			
						D'	100	5	0			12.97~16.24m ・割れ目は少なく、短柱状を呈する。
						CL'	100	12	12			
						CL'	100	19	19			
						CL'	100	20	20			
						CM'	100	25	36			●19.78~19.87m ・破碎部である。 ・左ずれセンスである。 ・浅黄橙色の固結礫状部からなる。 ・走向・傾斜はN16° E65° Wである。 ・フィルム状の粘土を挟在する。
						CL'	100	11	11			
						CM'	100	14	34			
						CL'	100	8	0			21.50~23.18m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。
				CM'		100	19	45			25.21~26.82m ・割れ目が少なく、短柱状~柱状を呈する。	
				CL'	100	13	25					
				CL'	100	8	0					
				CM'	100	15	15					
				CM'	100	24	60			●31.44~31.46m ・破碎部である。 ・右ずれセンスである。 ・にぶい黄橙色の未固結粘土状部からなる。 この累計幅は1.2cmである。 ・走向・傾斜はN3° W63° Wである。		
				CL'	100	18	32					
				CL'	100	16	16			31.46~33.00m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。		
						100	8	0				

H24-D1-3

柱状図(0.00m~30.00m)

H24-D1-3

孔口標高	T.P.	6.90m	掘削長	60.00m
------	------	-------	-----	--------

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)			記 事	
										最大 コア 長 (cm)	R Q D [%]	D [%]		
			[柱状図: 埋土/改良土]	埋土	黒褐		100						0.00~3.57m ・埋土である。	
					にぶい褐			100						
				改良土	灰褐		100						3.57~9.84m ・改良土である。	
					にぶい黄橙			100						
					にぶい黄褐			100						
					にぶい黄橙			100						
					にぶい黄褐			100						
					にぶい黄橙			100						
				[柱状図: 花崗斑岩]	花崗斑岩	オリブ 灰		100	1	0			9.84~60.00m ・花崗斑岩である。	
						明褐灰	D'		100	1	0			
						明褐灰	D'		100	2	0			
					にぶい橙	CL'		100	6	0			●13.94~14.06m (H-3d 破碎帯) ・破碎部である。 ・左ずれセンスである。 ・主に灰色の固結礫状部からなる。 ・浅黄色の未固結粘土状部：累計幅1.0cm ・走向・傾斜はN26° E77° Wである。	
						D'		100	12	12				
					灰褐	CL'		100	10	10			●14.41~14.52m (H-4' 破碎帯) ・破碎部である。 ・右ずれセンスである。 ・主に明黄褐色の固結礫状部からなる。 ・灰白色の未固結粘土状部：累計幅1.9cm ・走向・傾斜はN31° E66° NWである。 14.52~22.47m ・割れ目が少なく、短柱状を呈する。	
								100	15	15				
								100	13	34				
								100	11	21				
								100	10	20				
								100	10	10				
			明褐灰		CM'		100	7	0			22.47~23.77m ・硬質で柱状を呈する。		
						CH'		100	13	38				
					CL'		100	23	44					
							100	16	26					
							100	22	32					
							100	10	10					
			にぶい黄橙			100	15	15						
							100	8	0					
						100	12	22						

H24-D1-3

柱状図(30.00m~60.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)			記 事
										最大 コア 長 (cm)	R Q D [%]	D [%]	
40				花崗斑岩	にぶい 黄橙	明 褐 灰	CL'	100	5	0		32.63~33.30m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。	
							D'	100	2	0			
					明 褐 灰	CL'	100	7	0	●34.23~34.52m (D-1破碎帯) ・破碎部である。 ・正断層センスである。 ・主に黒褐色の固結礫状部からなる。 ・灰黄色の未固結粘土状部：累計幅0.8cm ・走向・傾斜はN12° W89° Wである。 36.53~36.82m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。			
							100	1	0				
							100	6	0				
							100	6	0				
							100	13	13				
							100	9	0				
							100	5	0				
							100	7	0				
							100	13	13				
							100	8	0				
							100	12	12				
							100	11	11				
					にぶい 褐	CM'	100	8	0	●52.13~52.28m ・破碎部である。 ・右ずれセンスである。 ・主に明褐色の固結礫状部からなる。 ・にぶい橙色の未固結粘土状部：累計幅0.5cm ・走向・傾斜はN7° E70° Wである。			
							100	8	0				
							100	5	0				
							100	7	0				
					灰 褐	CL'	100	6	0	●56.88~57.24m (D-35破碎帯) ・破碎部である。 ・右ずれ正断層センスである。 ・主にオリーブ灰色の固結礫状部からなる。 ・にぶい黄橙色の未固結粘土状部：累計幅0.5cm ・走向・傾斜はN2° E89° Wである。 58.29~58.53m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。			
							100	5	0				
明 褐 灰	CL'	100	4	0									
		100	6	0									
						100	5	0					
						100	6	0					
50						100	6	0					
						100	4	0					
						100	3	0					
						100	5	0					
						100	6	0					

H24-D1-4

柱状図(0.00m~30.00m)

H24-D1-4

孔 口 標 高	T. P.	6.95m	掘 削 長	70.00m
---------	-------	-------	-------	--------

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	岩 級 区 分	コ ア 採 取 率 (%)	最 大 コ ア 長 (cm)	R Q D (%)	コ ア 採 取 率 (%)			記 事	
										最 大 コ ア 長 (cm)	R	Q		D
				埋土	黒褐 にぶい褐		100						0.00~2.94m ・埋土である。	
		4.87		改良土	明黄褐		100						2.94~7.62m ・改良土である。	
		2.94			にぶい黄橙		100							
		1.56					100							
		7.62					100							
10			+	花崗斑岩	にぶい橙	明褐灰	100	7	0	●			7.62~17.89m ・花崗斑岩である。	
					100		3	0	●					
					100		3	0	●					
					100		4	0	●					
					100		7	0	●					
					100		6	0	●					
					100		7	0	●					
					100		8	0	●					
					100		6	0	●					
					100		7	0	●					
20			+	花崗斑岩	黒雲母 花崗岩	明褐灰	100	6	0	●			10.91~10.93m (D-1破碎帯) ・破碎部である。 ・正断層センスである。 ・灰白色の未固結粘土状部からなる。この累計幅は1.8cmである。 ・走向・傾斜はN13° W78° Wである。	
					100		7	0	●					
					100		7	0	●					
					100		7	0	●					
					100		18	36	●					
					100		10	10	●					
					100		8	0	●					
					100		9	0	●					
					100		9	0	●					
					100		5	0	●					
				花崗斑岩	明褐灰	100	3	0	●			11.22~17.89m ・割れ目が少なく、短柱状を呈する。		
						明褐灰	100	6	0	●			17.89~18.44m ・黒雲母花崗岩である。	
							100	7	0	●			18.44~20.00m ・花崗斑岩である。	
							100	7	0	●				
				100	18		36	●						
				花崗斑岩	明褐灰	100	10	10	●			23.40~23.77m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。		
						明褐灰	100	8	0	●				
							100	9	0	●				
							100	9	0	●				
				100	5		0	●						
				花崗斑岩	明褐灰	100	3	0	●			27.75~28.43m (D-35破碎帯) ・破碎部である。 ・正断層センスである。		
						明褐灰	100	5	0	●			主に明褐灰色の固結礫状部からなる。	
							100	5	0	●			・灰黄褐色の未固結粘土状部：累計幅0.4cm	
							100	9	0	●			・走向・傾斜はN6° E83° Wである。	
				100	9		0	●						

H24-D1-4

柱状図(30.00m~60.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)		記 事
										最大コア 長 (cm)	最大コア 長 (cm)	
40			+	花崗斑岩	灰褐色	CL'	100	12	12	0	0	34.57~34.63m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。
						CL'	100	7	0	0	0	
						CM'	100	9	0	0	0	
						CH'	100	13	34	0	0	
						CL'	100	9	0	0	0	
						CM'	100	9	0	0	0	
						CM'	100	6	0	0	0	
						CL'	100	6	0	0	0	
						CM'	100	4	0	0	0	
						CL'	100	7	0	0	0	
				にぶい橙	CL'	100	10	10	0	0	42.37~42.61m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。	
					CM'	100	7	0	0	0		
					CM'	100	7	0	0	0		
					CL'	100	12	12	0	0		
					CL'	100	6	0	0	0		
					CL'	100	5	0	0	0		
					CH'	100	12	33	0	0		
					CH'	100	18	34	0	0		
					CL'	100	9	0	0	0		
					CL'	100	8	0	0	0		
灰褐色	CM'	100	9	0	0	0	●52.97~53.46m ・破砕部である。 ・正断層センスである。 ・主に灰白色の固結礫状部からなる。 ・褐色の未固結粘土状部：累計幅0.3cm ・走向・傾斜はN41° E50° NWである。					
	CM'	100	14	35	0	0						
	D'	100	8	0	0	0						
	D'	100	2	0	0	0						
	CL'	100	4	0	0	0						
	CL'	100	4	0	0	0						
	CL'	100	12	12	0	0						
	CM'	100	6	0	0	0						
	CM'	100	9	0	0	0						
	CL'	100	7	0	0	0						
50			+	花崗斑岩	灰褐色	CL'	100	4	0	0	56.57~59.47m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。	
						CL'	100	4	0	0		0
			+	花崗斑岩	灰褐色	CM'	100	6	0	0	●60.06~60.38m ・破砕部である。 ・右ずれセンスである。 ・主に灰白色の固結礫状部からなる。 ・暗緑灰色の未固結粘土状部：累計幅0.3cm ・走向・傾斜はN18° E86° Wである。	
						CM'	100	9	0	0		0
						CL'	100	7	0	0		0
						CL'	100	7	0	0		0

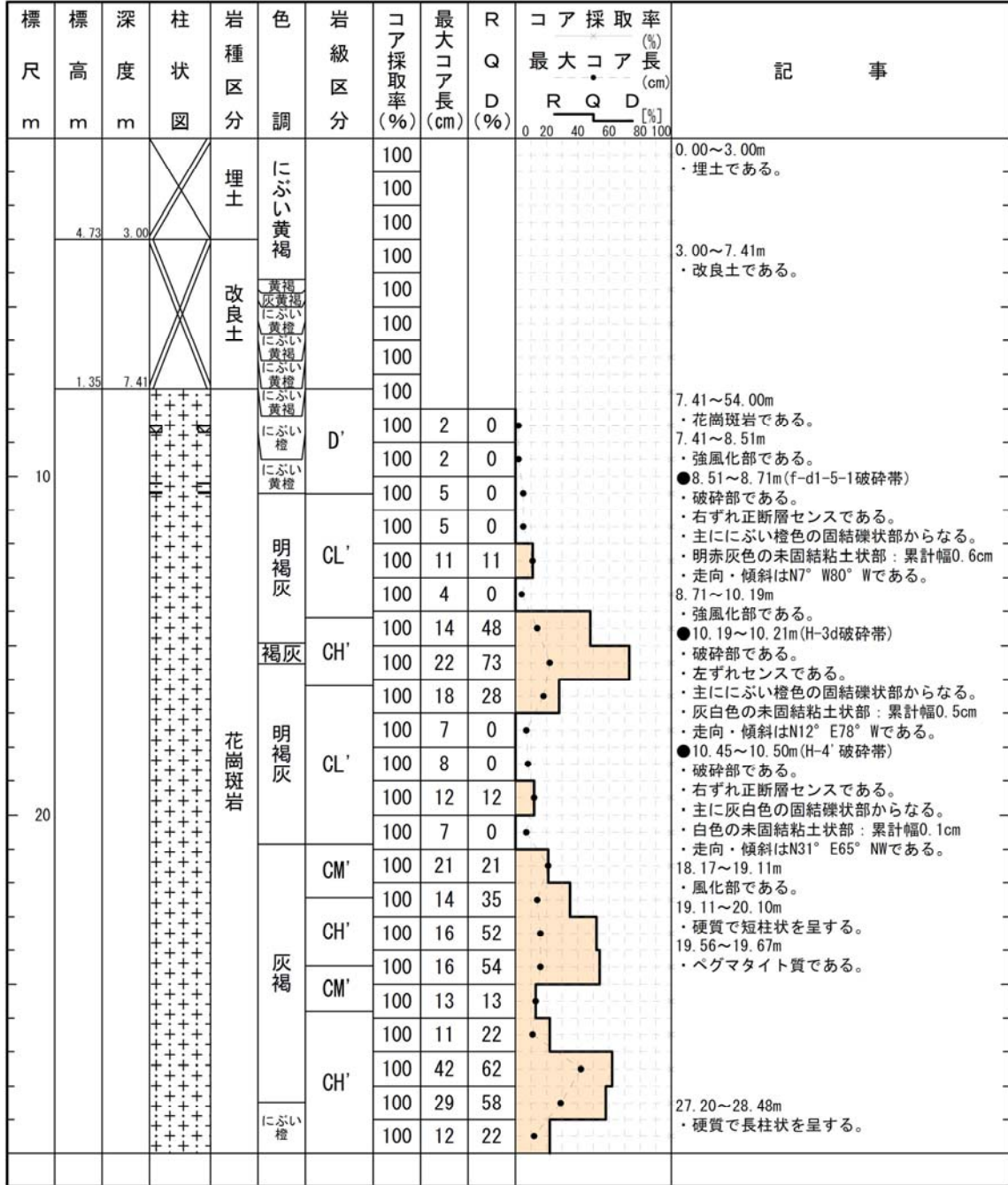
H24-D1-4

柱状図(60.00m～70.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm) R Q D [%]	記 事
				花崗斑岩	灰褐	CL'	100	4	0		<p>60.38～61.39m</p> <ul style="list-style-type: none"> ・割れ目が多く、角礫状を呈する。 ●61.47～61.52m (f-d1-4-5破砕帯) ・破砕部である。 ・右ずれ正断層センスである。 ・主に灰白色の固結礫状部からなる。 ・暗緑灰色の未固結粘土状部；累計幅0.1cm ・走向・傾斜はN27° W83° Wである。 <p>●63.67～63.90m</p> <ul style="list-style-type: none"> ・破砕部である。 ・逆断層センスである。 ・灰白色の固結礫状部及び赤灰色の固結粘土状部からなる。 ・走向・傾斜はN19° W89° Wである。 <p>66.65～67.05m</p> <ul style="list-style-type: none"> ・割れ目が多く、角礫状を呈する。
							100	4	0		
							100	3	0		
						D'	100	3	0		
						CL'	100	9	0		
							100	5	0		
							100	4	0		
							100	2	0		
						明褐灰	100	3	0		
						灰褐	100	5	0		
	-42.55	70.00									

H24-D1-5

柱状図(0.00m~30.00m)



H24-D1-5

柱状図(30.00m～54.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)			記 事	
										最大 コア 長 (cm)	R	Q		D
40	-34.34	54.00	+	花崗斑岩	にぶい 橙	CH'	100	20	30	0	20	80	32.68～32.76m ・風化部である。 ・割れ目が多く、砂状を呈する。 33.96～36.70m ・弱風化部である。 41.08～41.49m ・硬質で短柱状を呈する。 43.25～45.09m ・風化部である。 ・割れ目が多く、砂～角礫状を呈する。 ●47.47～47.89m(D-1破碎帯) ・破碎部である。 ・正断層センスである。 ・主に灰黄色の固結礫状部からなる。 ・灰褐色の未固結粘土状部：累計幅2.0cm ・走向・傾斜はN1° E88° Wである。 52.75～54.00m ・硬質で短柱～柱状を呈する。	
						CL'	100	7	0	0	0	100		
						CM'	100	10	10	0	10	90		
						明褐灰	100	4	0	0	0	100		
							100	7	0	0	0	100		
							100	6	0	0	0	100		
						にぶい 橙	CL'	100	5	0	0	0		100
							100	4	0	0	0	100		
							100	11	11	0	0	89		
						明褐灰 橙	100	10	10	0	0	90		
							100	13	13	0	0	87		
						にぶい 橙	D'	100	2	0	0	0		100
							100	1	0	0	0	100		
						明褐灰	CL'	100	3	0	0	0		100
								100	4	0	0	0		100
								100	4	0	0	0		100
						灰黄	CM'	100	3	0	0	0		100
								100	7	0	0	0		100
100	10	10	0	0	90									
灰褐	CM'	100	10	10	0	0	90							
		100	10	10	0	0	90							
		100	19	29	0	0	71							
CH'	100	12	24	0	0	84								
	CM'	100	12	24	0	0	84							

柱状図(0.00m~30.00m)

H27-B-3

孔 口 標 高	T. P.	7.06m	掘 削 長	180.00m
---------	-------	-------	-------	---------

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	岩 級 区 分	コ ア 採 取 率 (%)	最 大 コ ア 長 (cm)	R Q D (%)	コ ア 採 取 率 (%)		記 事
										最 大 コ ア 長 (cm)	最 大 コ ア 長 (cm)	
				埋土	黒褐色にふい 黄褐色 灰黄褐色		100					0.00~10.05m ・盛土である。 ・よく締まる粗砂~砂礫からなる。 ・0.00~1.70mはボーリング掘削前に実施した試掘の埋土である。
	5.36	1.70					100					
				盛土	にふい 黄褐色		100					
							100					
							100					
							100					
							100					
							100					
							100					
							100					
10	-2.98	10.05			オリ ブ灰 灰黄褐色		100	4	0			10.05~180.00m ・花崗斑岩である。
						CL'	100	7	0			
						D'	100	9	0			
					明褐 灰		100	3	0			12.96~14.62m ・所々に灰白色の粘土を斑点~脈状に含む。
						CL'	100	6	0			
						D'	100	10	10			15.33~15.43m ・軟質化が著しい。
						CL'	100	7	0			
						CL'	100	8	0			
					にふい 橙		100	5	0			18.05~18.47m ・珪質化している。
					明褐 灰		100	9	0			
					にふい 橙	CM'	100	14	24			20.04~20.93m ・硬質であるが、密着度の低い割れ目を含む。
							100	3	0			
							100	5	0			22.50~22.64m ・軟質化が著しい。 ・上端に褐色の粘土脈、下端に褐色の砂を伴う。
						明褐 灰	100	6	0			一部に灰白色の粘土を脈状に挟む。
							100	10	10			●26.70~26.90m ・破砕部である。
							100	18	18			・左ずれセンスである。
							100	8	0			・主に灰白色の固結礫状部からなる。
					灰白	D'	100	5	0			・淡黄色の未固結粘土状部：累計幅0.1cm
					明褐 灰	CL'	100	6	0			・走向・傾斜はN18° E61° Wである。
						D'	100	6	0			・上端境界の傾斜は43°、下端境界の傾斜は54°である。
						CL'	100	4	0			●28.12~28.14m ・破砕部である。
							100	5	0			・左ずれセンスである。
							100	6	0			・主ににふい黄橙色の固結砂状部からなる。
							100	6	0			・浅黄色の未固結粘土状部：累計幅0.3cm
							100	6	0			・走向・傾斜はN15° E64° Wである。
							100	4	0			・上端境界の傾斜は43°、下端境界の傾斜は45°~55°である。
							100	4	0			●29.10~29.12m ・破砕部である。
							100	4	0			・左ずれセンスである。
							100	6	0			・主に灰白色の固結粘土状部からなる。
							100	6	0			・灰白色の未固結粘土状部：累計幅1.0cm
							100	6	0			・走向・傾斜はN31° E51° Wである。
							100	4	0			・上端境界の傾斜は49°、下端境界の傾斜は45°~50°である。

柱状図(30.00m~60.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm)	R Q D [%]	記事	
													0 20 40 60 80 100
40			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	26	36				30.56~32.21m ・硬質で割れ目が少なく、柱状を呈する。
						CH'	100	17	40				34.20~35.94m ・硬質だが、密着度の低い割れ目が多い。
						CM'	100	10	10				
						CL'	100	5	0				
						CM'	100	9	0				
						CM'	100	8	0				
						にぶい 褐	CH'	100	19	43			35.94~37.30m ・硬質で割れ目が少なく、柱状を呈する。
							CM'	100	16	16			
							CL'	100	10	10			37.69~37.81m ・割れ目沿いに砂状を呈する。 ・白色の粘土脈を挟む。
							CM'	100	10	10			
							CL'	100	11	11			
							CM'	100	9	0			40.79~41.83m ・硬質であるが、割れ目が多い。
							CL'	100	8	0			
							CL'	100	13	33			●42.85~42.91m(H-2破碎帯) ・破碎部である。 ・右ずれセンスである。 ・明褐灰色の固結礫状部からなる。 ・走向・傾斜はNS71° Wである。 ・フィルム状の粘土を挟在する。 ・上端境界の傾斜は45°、下端境界の傾斜は66°である。
							CM'	100	11	11			
							CL'	100	12	12			
						CM'	100	11	21				
						CL'	100	11	11				
						CM'	100	6	0			46.14~48.61m ・硬質であるが、割れ目が多い。 ・上部は長石の多くが白濁化する。 ・一部で割れ目沿いに、砂状~細片状を呈する。	
						50			+	明褐灰	CL'	100	7
CL'	100	4	0										
CL'	100	4	0										
CL'	100	6	0										
CL'	100	6	0									53.10~55.82m ・割れ目が多く、一部割れ目沿いに砂状を呈し、白色粘土を挟む。	
CL'	100	5	0										
CL'	100	3	0										
CL'	100	2	0										
CL'	100	3	0									●56.69~56.72m ・破碎部である。 ・右ずれセンスである。 ・主に淡黄色の固結礫状部からなる。 ・黄灰色の未固結粘土状部：累計幅0.1cm ・走向・傾斜はN2° W36° Wである。 ・上端境界の傾斜は30°、下端境界の傾斜は31°である。	
CL'	100	2	0										
			+	にぶい 橙	D'	100	3	0				●58.89~58.98m ・破碎部である。 ・左ずれセンスである。 ・主ににぶい黄橙色の固結礫状部からなる。 ・灰白色の未固結粘土状部：累計幅1.5cm ・走向・傾斜はN11° W54° Wである。 ・上端境界の傾斜は20°、下端境界の傾斜は25°である。	
					CL'	100	2	0					
					D'	100	5	0					
					CL'	100	5	0					
					D'	100	2	0					
					CL'	100	5	0					
					D'	100	2	0					
					CL'	100	2	0					
					D'	100	3	0					
					CL'	100	5	0				●59.69~59.75m ・破碎部である。 ・右ずれ正断層センスである。 ・主ににぶい橙色の固結礫状部からなる。 ・黄褐色の未固結粘土状部：累計幅0.1cm ・走向・傾斜はN37° E48° Wである。 ・上端境界の傾斜は52°、下端境界の傾斜は37°である。	

柱状図(60.00m~90.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm) R Q D [%]	記 事	
												0 20 40 60 80 100
70						灰褐	CM'	100	5	0	●	60.00~62.23m ・硬質であるが、密着度の低い割れ目が多い。 ・一部割れ目沿いに砂状を呈する。
							CL'	100	3	0		
						にぶい橙 灰褐	CM'	100	5	0	●	62.82~62.93m ・砂礫状を呈し、白色粘土脈を伴う。
							CL'	100	7	0		
						にぶい橙 明褐灰	CM'	100	4	0	●	64.52~66.39m ・硬質であるが、割れ目が多い。 ・一部割れ目沿いに薄く砂状を呈する。
							CL'	100	7	0		
						にぶい橙 褐灰	D'	100	9	0	●	68.06~68.93m ・砂礫状を呈する。
							CL'	100	2	0		
						明褐灰	D'	100	4	0	●	70.10~71.72m ・著しく軟質化している。 ・粘土状~砂状を呈し、白色粘土脈を伴う。
							CL'	100	2	0		
						明褐灰	D'	100	3	0	●	72.65~73.38m ・著しく軟質化している。 ・一部、細砂礫状を呈する。
							D'	100	5	0		
						灰褐	CL'	100	2	0	●	● 76.59~76.89m (H-3c破砕帯) ・破砕部である。 ・左ずれ正断層センスである。 ・主ににぶい橙色の固結礫状部からなる。 ・明黄褐色の未固結粘土状部：累計幅0.1cm ・上端境界の傾斜は47°、下端境界の傾斜は37°である。
							D'	100	5	0		
						にぶい橙 明褐灰	CL'	100	8	0	●	79.15~85.03m ・粘土状を呈し、著しく軟質化している。 ・原岩組織と割れ目の一部は残っている。
							D'	100	4	0		
						明黄褐 明褐灰 明黄褐	D'	100	4	0	●	84.54~84.71m ・砂状を呈し、軟質粘土を伴う。
							D'	100	5	0		
						灰褐	D'	100	4	0	●	85.61~93.25m ・著しく軟質化している。
							D'	100	3	0		
						にぶい橙 褐灰	CL'	100	3	0	●	87.18~91.35m ・砂礫状を呈する。
							D'	100	3	0		
						にぶい橙 明褐灰	D'	100	2	0	●	
							D'	100	2	0		
						にぶい黄橙 明褐灰	D'	100	3	0	●	
							D'	100	3	0		

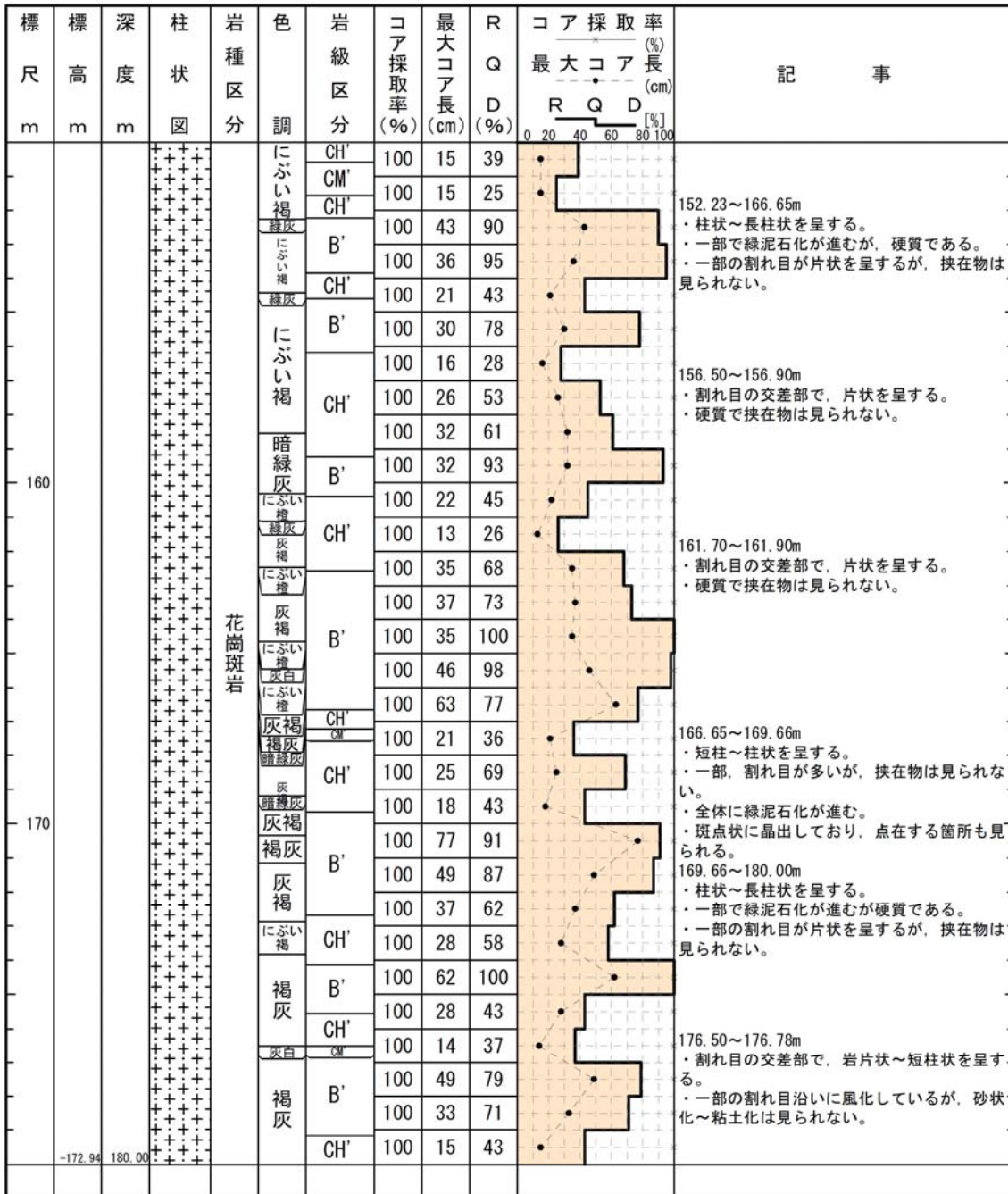
柱状図(90.00m~120.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm)	R Q D [%]	記事
				花崗斑岩	明褐灰	D'	100	6	0			<ul style="list-style-type: none"> ●91.35~91.54m(H-3e破碎帯) ・破碎部である。 ・主に浅黄橙色の固結礫状部からなる。 ・灰白色の未固結粘土状部：累計幅1.0cm ・上端境界の傾斜は36°，下端境界の傾斜は20°である。 91.54~92.00m ・石英以外は砂状を呈する。 93.66~93.86m ・粘土状及び砂状を呈する。 ●99.50~99.68m(H-3d破碎帯) ・破碎部である。 ・褐灰色の固結礫状部からなる。 ・走向・傾斜はN15° W89° Eである。 ・幅10mmの粘土を挟在する。 ・上端境界の傾斜は43°，下端境界の傾斜は37°である。 102.00~104.28m ・硬質であるが、割れ目が多く、岩片状~短柱状を呈する。 104.28~105.88m ・硬質で割れ目が少なく、柱状を呈する。 105.88~119.00m ・硬質であるが、割れ目が多く、岩片状~短柱状を呈する。 108.71~112.27m ・割れ目が少なく、柱状を呈する。 ・割れ目には挟在物は見られない。 112.27~113.27m ・硬質であるが、割れ目が多く、岩片状~短柱状を呈する。 ・一部割れ目に砂状~シルト状緑泥石が見られる。 ●115.00~115.12m(H-4' 破碎帯) ・破碎部である。 ・浅黄色の固結礫状部からなる。 ・走向・傾斜はN36° E87° Wである。 ・フィルム状の粘土を挟在する。 117.32~117.39m ・割れ目沿いに、軟質化している。 117.39~119.00m ・短柱状~柱状を呈する。 ・下部に割れ目が多いが、挟在物は見られない。 ●119.11~119.25m(D-1破碎帯) ・破碎部である。 ・右ずれ正断層センスである。 ・主に暗緑灰色の固結礫状部からなる。 ・緑灰色の未固結粘土状部：累計幅1.0cm ・走向・傾斜はN20° E87° Wである。 ・上端境界の傾斜は50°，下端境界の傾斜は43°である。
					にぶい橙		100	3	0			
					灰褐	CL'	100	3	0			
					明褐灰	CL'	100	4	0			
					にぶい橙		100	2	0			
					灰褐	CL'	100	2	0			
					明褐灰		100	6	0			
					にぶい橙	CL'	100	7	0			
					灰褐		100	2	0			
					褐灰	CM'	100	5	0			
					にぶい橙		100	8	0			
					褐灰	CH'	100	12	12			
					明褐灰		100	8	0			
					にぶい橙	CM'	100	12	23			
					褐灰		100	18	31			
					明褐灰	CM'	100	10	10			
					にぶい橙		100	10	10			
					褐灰	CH'	100	10	10			
					明褐灰		100	15	25			
					明褐灰	CH'	100	15	25			
				にぶい橙	100		12	12				
				明褐灰	CM'	100	10	20				
				にぶい橙		100	20	72				
				明褐灰	CH'	100	22	40				
				にぶい橙		100	12	34				
				明褐灰	CH'	100	12	34				
				にぶい橙		100	25	47				
				明褐灰	CM'	100	10	10				
				にぶい橙		100	10	10				
				明褐灰	CM'	100	21	36				
				にぶい橙		100	3	0				
				明褐灰	CL'	100	3	0				

柱状図(120.00m~150.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm) R Q D [%]	記事
130			+	花崗斑岩	褐灰	CL	100	31	64		120.10~129.84m ・硬質で割れ目が少なく、主として短柱状~柱状を呈する。 ・割れ目に挟在物は見られず、割れ目面もほぼ新鮮である。 ●129.84~129.91m ・破砕部である。 ・逆断層センスである。 ・灰白色の固結礫状部及び緑灰色の固結粘土状部からなる。 ・走向・傾斜はN27° E86° Eである。 ・フィルム状の粘土を挟在する。 ・上端境界の傾斜は70°、下端境界の傾斜は60°~70°である。
						CH'	100	23	74		
						CH'	100	21	76		
						CH'	100	26	88		
						CH'	100	20	47		
						CH'	100	19	79		
						CM'	100	13	35		
						CM'	100	12	23		
						CH'	100	20	34		
						CM'	100	10	20		
						CL'	100	14	24		
						CM'	100	21	73		
						CH'	100	25	25		
						CM'	100	5	0		
						140			+		
CH'	100	16	28								
CH'	100	29	58								
CH'	100	15	71								
CH'	100	27	72								
CH'	100	52	52								
CH'	100	13	34								
CH'	100	16	48								
CH'	100	14	14								
CH'	100	10	30								
			+	花崗斑岩	灰褐	CM'	100	8	0		
						CM'	100	11	32		
						CM'	100	13	13		
						CH'	100	25	37		
						CH'	100	22	62		

柱状図(150.00m~180.00m)

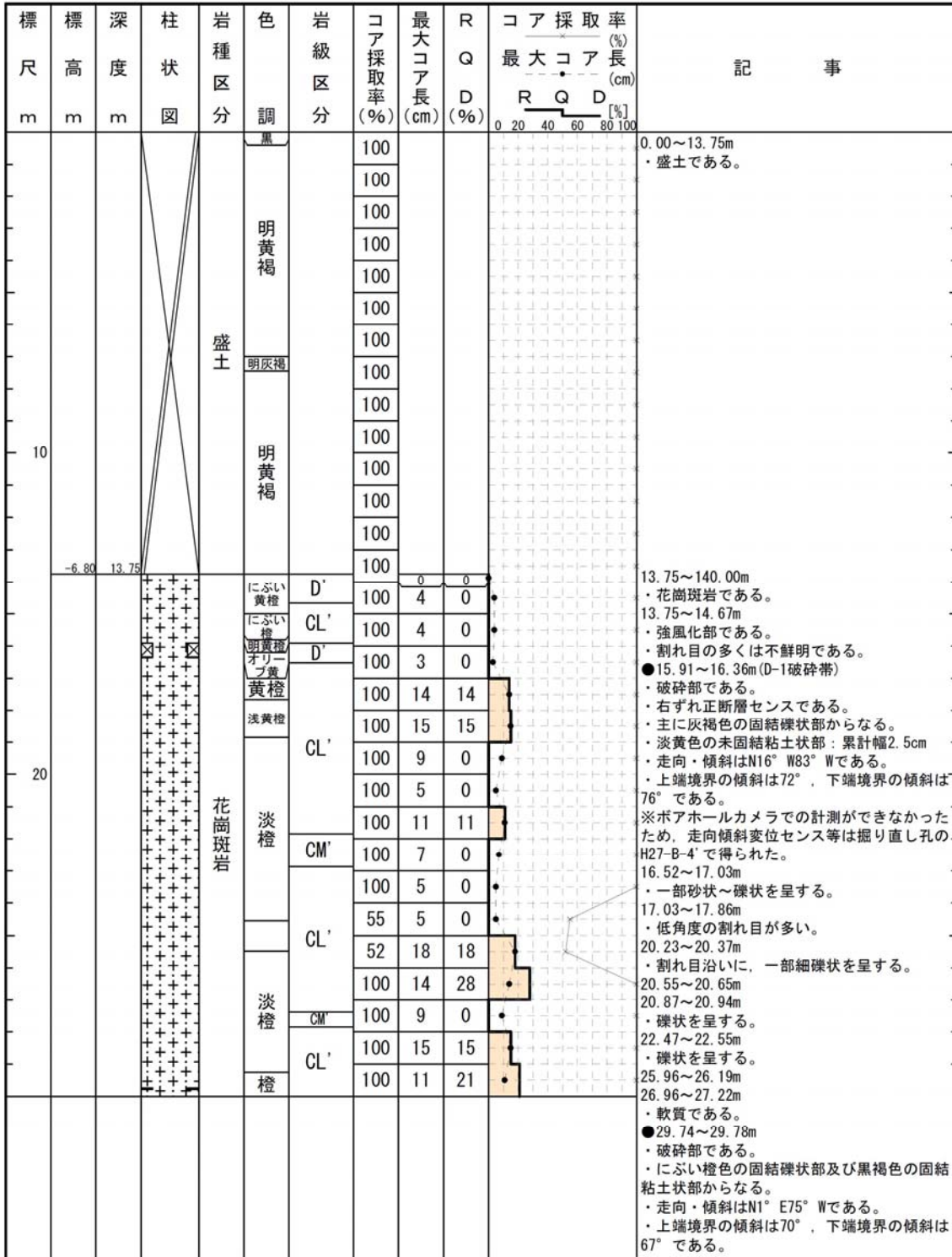


H27-B-4

柱状図(0.00m~30.00m)

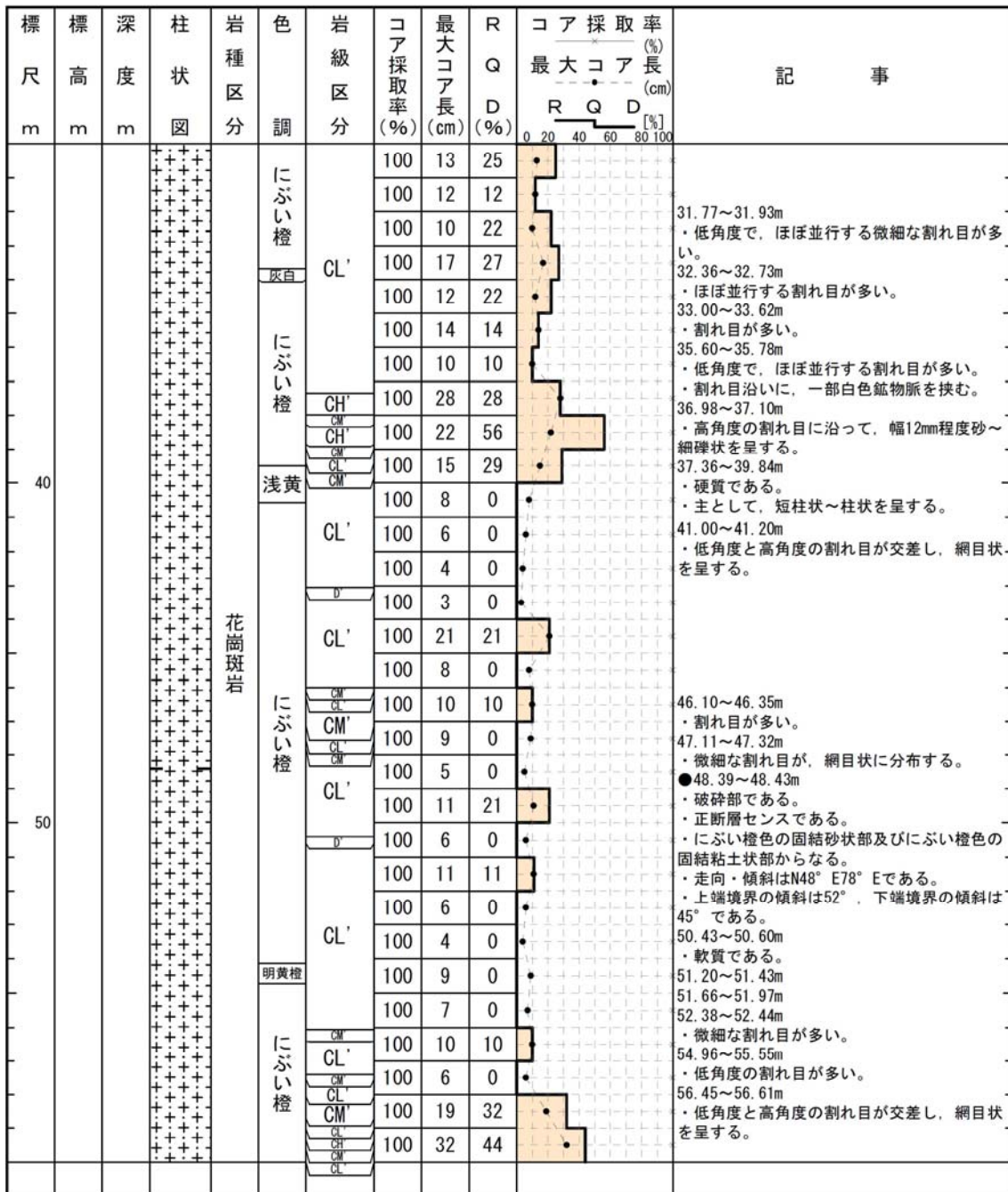
H27-B-4

孔 口 標 高	T. P.	6.95m	掘 削 長	140.00m
---------	-------	-------	-------	---------



H27-B-4

柱状図(30.00m~60.00m)



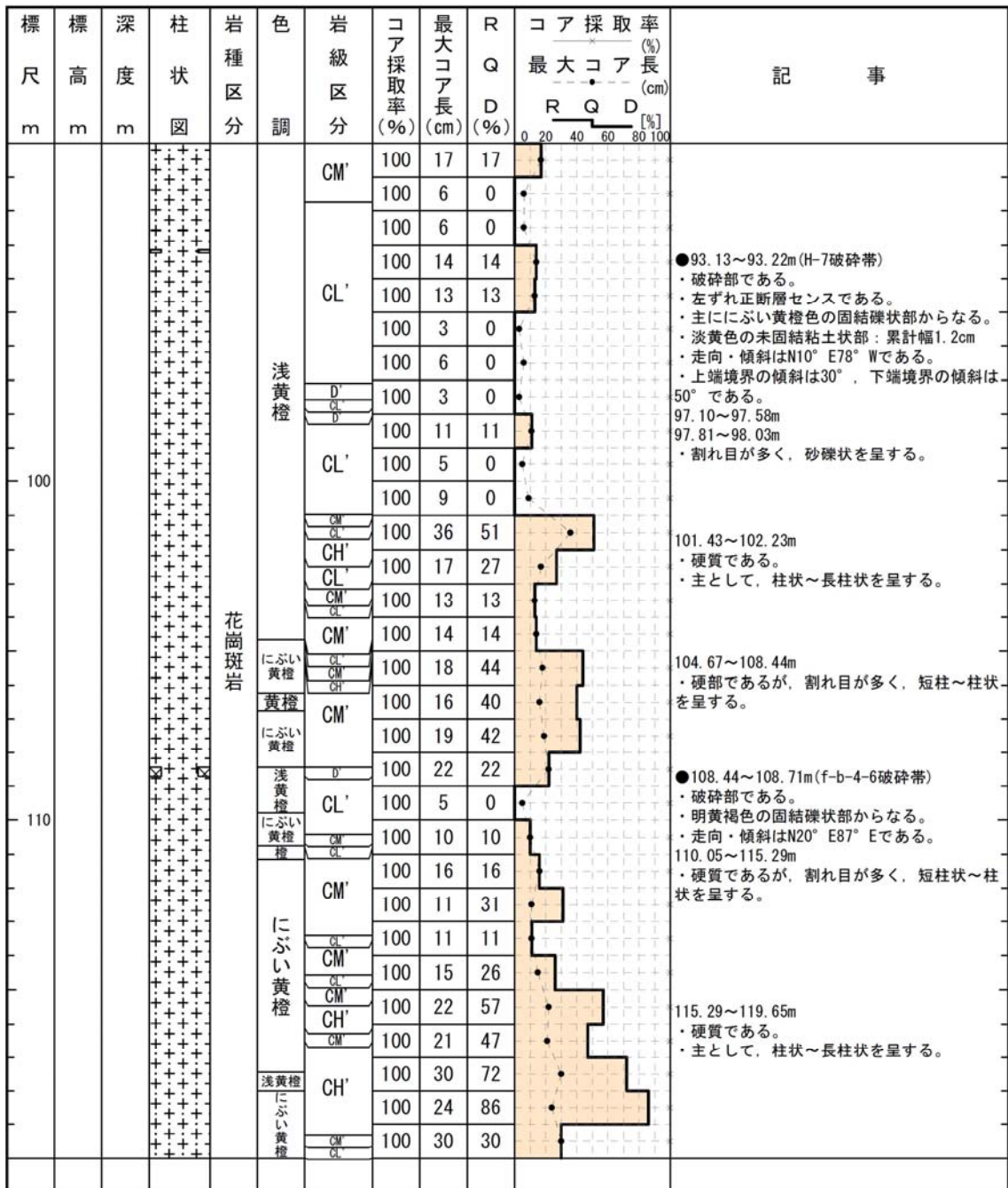
H27-B-4

柱状図(60.00m~90.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)		記 事	
										最大コア長 (cm)	コア長 (cm)		
70			+	花崗斑岩		にぶい橙	CL'	100	4	0		<p>60.07~60.45m 60.82~61.72m ・微細な割れ目が多い。</p> <p>63.90~64.30m ・変質している。 ・軟質化しており、割れ目は不鮮明である。</p> <p>●64.65~64.91m(H-6c破碎帯) ・破碎部である。 ・右ずれ正断層センスである。 ・にぶい黄橙色の固結礫状部からなる。 ・走向・傾斜はN4° E87° Eである。 ・上端境界の傾斜は65°、下端境界の傾斜は65°である。</p> <p>●65.59~65.72m ・破碎部である。 ・褐灰色の固結礫状部からなる。 ・走向・傾斜はNS78° Wである。 ・上端境界の傾斜は65°、下端境界の傾斜は62°である。</p> <p>67.28~67.75m ・変質している。 ・灰白色粘土状を呈する。</p> <p>68.97~69.08m ・砂状~細礫状を呈する。</p> <p>75.05~75.29m ・ほぼ並行する低角度の割れ目が多い。</p>	
							CL'	100	3	0			
							CL'	100	3	0			
							CL'	100	6	0			
							黄橙 にぶい橙	D'	100	4			0
							CL'	100	4	0			
							褐灰	D'	100	3			0
							灰黄褐	D'	100	3			0
							灰白	D'	100	3			0
							にぶい橙	D'	100	2			0
							CL'	100	3	0			
							CL'	100	9	0			
							CL'	100	5	0			
							CL'	100	5	0			
							CL'	100	8	0			
							CL'	100	7	0			
							CL'	100	6	0			
							CL'	100	8	0			
							CL'	100	6	0			
							80			+			花崗斑岩
CL'	100	14	14										
CL'	100	13	24										
CH	100	15	26										
CM	100	13	13										
CL'	100	12	34										
CL'	100	8	0										
CL'	100	9	0										
CM'	100	13	23										
D'	100	23	62										
			+	花崗斑岩		浅黄橙	CL'	100	13	24			
							CL'	100	13	24			
							CL'	100	8	20			
							CM	100	8	20			

H27-B-4

柱状図(90.00m~120.00m)



H27-B-4

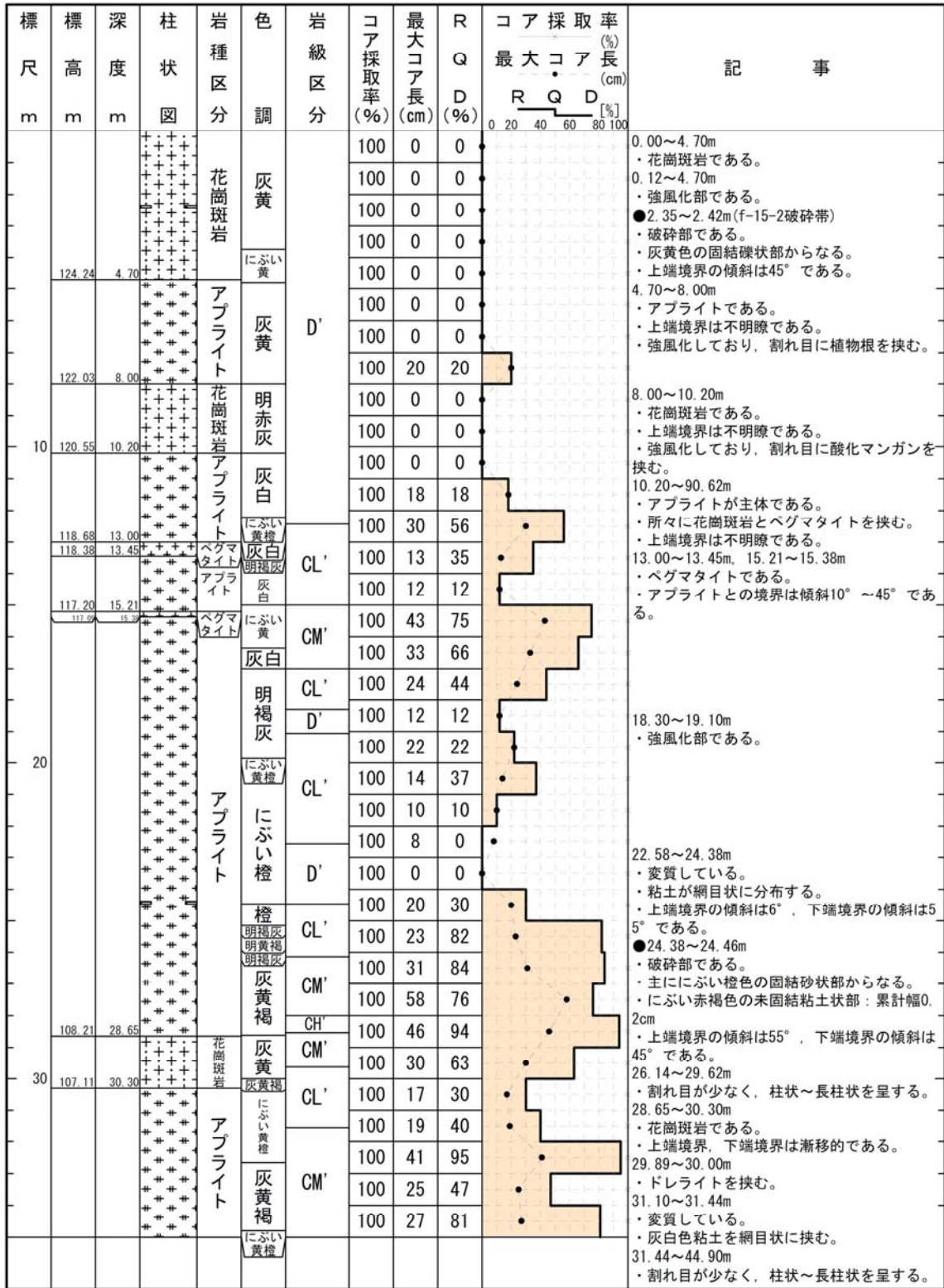
柱状図(120.00m~140.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色調	岩級 区分	コア 採取率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 最大コア 長 (cm)	R Q D [%]	記事
130	-133.05	140.00	+	花崗斑岩	にぶい黄橙	CL	100	32	55		120.40~122.46m ・硬質である。 ・主として、柱状~長柱状を呈する。	
						CH'	100	28	83			
						にぶい黄橙	CM	100	36			36
						にぶい黄橙	CL	100	8			0
						にぶい黄橙	CL	100	26			71
						にぶい黄橙	CH'	100	20			47
						にぶい黄橙	CM	100	14			24
						にぶい黄橙	CH	100	12			12
						にぶい黄橙	CL'	100	8			0
						明黄橙	CM'	100	32			43
						にぶい黄橙	CL'	100	9			0
						にぶい黄橙	CM	100	33			46
						にぶい黄橙	CM'	100	26			45
						にぶい黄橙	CH	100	26			57
						橙	CH'	100	14			45
						灰白	CM'	100	22			38
						にぶい黄橙	CM'	100	9			0
						にぶい黄橙	CH	100	24			54
						にぶい黄橙	CL	100	16			28
						灰白	CH'	100	9			0
にぶい黄橙	CM				128.90~129.15m ・割れ目沿いに、一部礫状を呈する。							
にぶい黄橙	CL'					130.42~139.72m ・硬質であるが、割れ目が多く、短柱状~柱状を呈する。 ・一部、長柱状を呈する。						
にぶい黄橙	CH											
にぶい黄橙	CM'											
					にぶい黄橙							138.01~138.16m ・微細な割れ目が多い。 140.00~141.42m ・割れ目沿いに、細礫状を呈する箇所が多い。
					にぶい黄橙							
					にぶい黄橙							
					にぶい黄橙							

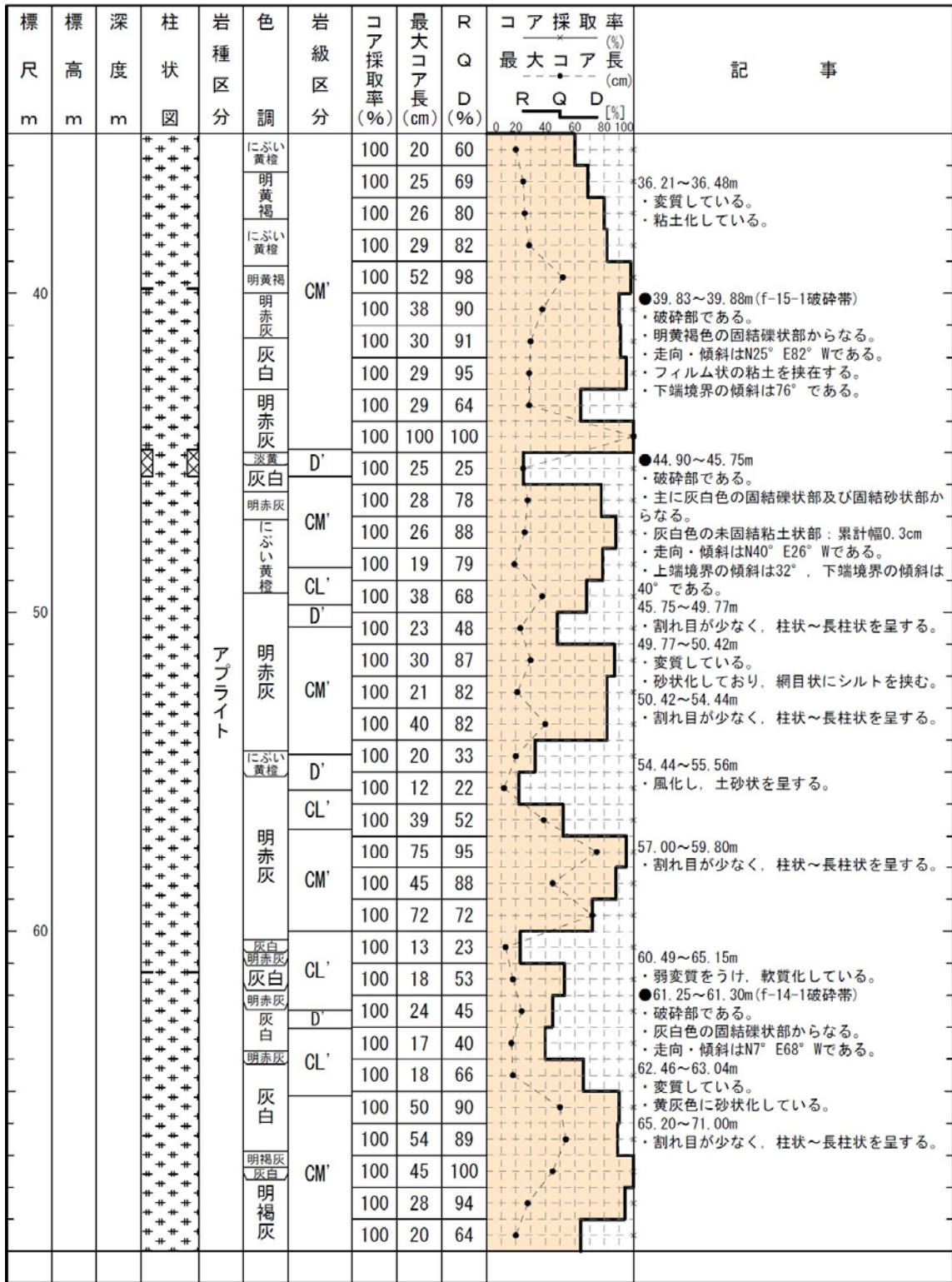
柱状図(0.00m~35.00m)

H19-No. 2

孔 口 標 高	T. P. 127.38m	掘 削 長	220.00m
---------	---------------	-------	---------



柱状図(35.00m~70.00m)



柱状図(70.00m~105.00m)

